

岩見沢地区消防事務組合 消防 年報 2026



北盛出張所 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型(令和7年9月 運用開始)

ま え が き

この年報は、岩見沢地区消防事務組合の現況と消防業務に関する諸統計を集録し、今後の消防行政の参考に資するとともに当組合の消防事情を広く紹介するために編集したものです。

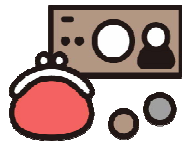
令和 8 年 9 月

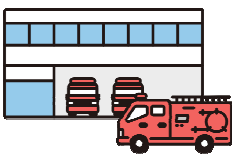
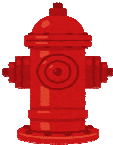
岩見沢地区消防事務組合

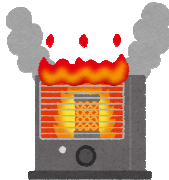
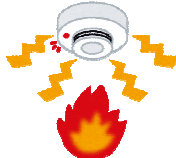
消 防 本 部

2026・簡易統計

R8. 4. 1現在
R7.12.31現在

組合位置	構成団体	人口・世帯数等	消防組織	当初予算
 北海道岩見沢市 8条東10丁目2番地47 東経141度46分 北緯 43度12分		 人口 74,858人 世帯数 41,402世帯 管轄面積 631.42 km ²	 組合議会議員 9人 管理者 岩見沢市長 副管理者 月形町長 監査委員 2人 公平委員 3人	 一般会計予算 2,325,474千円

消防本部・署所	消防職員	消防団員	消防車両	消防水利
				
消防本部 1 消防署 1 支署 3 出張所 3 分遣所 1	条例定数 149人 現員 143人 平均年齢 43歳5ヶ月 平均勤続年数 17年7ヶ月	条例定数 570人 現員 440人 平均年齢 46歳4ヶ月 平均勤続年数 14年11ヶ月	ポンプ・水槽車 21台 積載車 25台 化学車 1台 救急車 6台 梯子車 1台 救助工作車 1台 その他 18台	消火栓 1,006基 防火水槽 165基

危険物施設	火災件数	出火原因	火災による死傷者	火災による損害見積額
				
危険物施設 (内訳) 貯蔵所 335件 取扱所 108件	火災件数 22件 うち 建物 12件 林野 0件 車両 6件 船舶・航空機 0件 その他 4件	排気管 5件 たばこ、ストーブ、 マッチ・ライター 各2件 こんろ、電気機器、 電灯・電話等の配線 各1件 他 8件	死者 1人 負傷者 4人	損害見積額 84,237千円

焼損面積	救急件数	救急事故種別	救助件数	消防協力団体等
				
床面積 1,936(m ²) 表面積 66(m ²) 林野 0(a)	出動件数 4,076件 搬送人員 3,502人	急病 2,503件 一般負傷 587件 交通事故 148件 火災 59件 自損行為 29件 労働災害 28件 他 722件	出動件数 139件 救出人員 62人	危険物安全協会 1 火防協会 1 防火委員会 1 ・幼年消防クラブ 12 ・少年消防クラブ 2

目 次

総 務 編

組合の位置と地勢	1
消防本部・各署所外観	2
組合を構成する団体の状況	3
組合消防のあゆみ	4
歴代役職者	13
消防表彰	16
消防組織	18
消防団組織	19
岩見沢地区消防事務組合議会議員名簿	20
消防職員の現況	20
消防職員の勤続年数現況	21
消防職員の年齢構成	21
消防職員の免許等取得状況	22
消防職員・団員の学校教育及び研修状況	23
消防職員・団員数の推移	24
消防職員・団員1人当たりの面積・ 人口・世帯数	24
令和8年度当初予算	25
令和8年度団体別当初予算	25
いわみざわ消防フェア・ 旧消防フェスティバルの実施状況	26

警 防 編

消防機械等及び消防水利の設置状況	27
消防団の現況	28
消防団員の年額報酬の現況	29
消防団員の出動報酬の現況	29

予 防 編

指定防火対象物査察実施状況	30
指定防火対象物査察指導状況	31
中高層建築物状況	32
防火管理者選任及び消防計画届出状況	33
建築物同意事務状況	35
各種届出状況	36
消防協力団体	37
幼年・少年消防クラブ状況	37
消防協力団体の設立趣旨及び事業内容	38

火災等出動状況	39
火災状況	39
時間別火災件数	40
曜日別火災件数	40
四季別火災件数	40
四季別損害額	40
月別火災発生状況	41
過去5年間の火災の推移	43
過去5年間の出火原因の状況	45
危険物製造所等設置状況	46
危険物製造所等の許認可等状況	46
危険物関係各種届出状況	47
住宅用火災警報器の普及状況	48
住宅用火災警報器設置届出状況	48
事業所等での消防訓練等の実施状況	49
防火対象物定期点検及び 防災管理点検の報告状況	49

救急救助編

月別の救急出動状況	50
時間別救急出動件数	51
曜日別救急出動件数	51
事故種別救急出動割合	51
出動場所別救急出動状況	52
過去5年間の救急出動推移	52
傷病程度別の搬送人員状況	53
年齢区分別の搬送人員状況	53
救急隊員が行った応急処置件数	54
急病にかかる疾病分類別搬送人員の状況	55
救助事故種別出動件数	56
救助活動件数・救出人員数調	56
救急講習会の実施状況	57

通 信 編

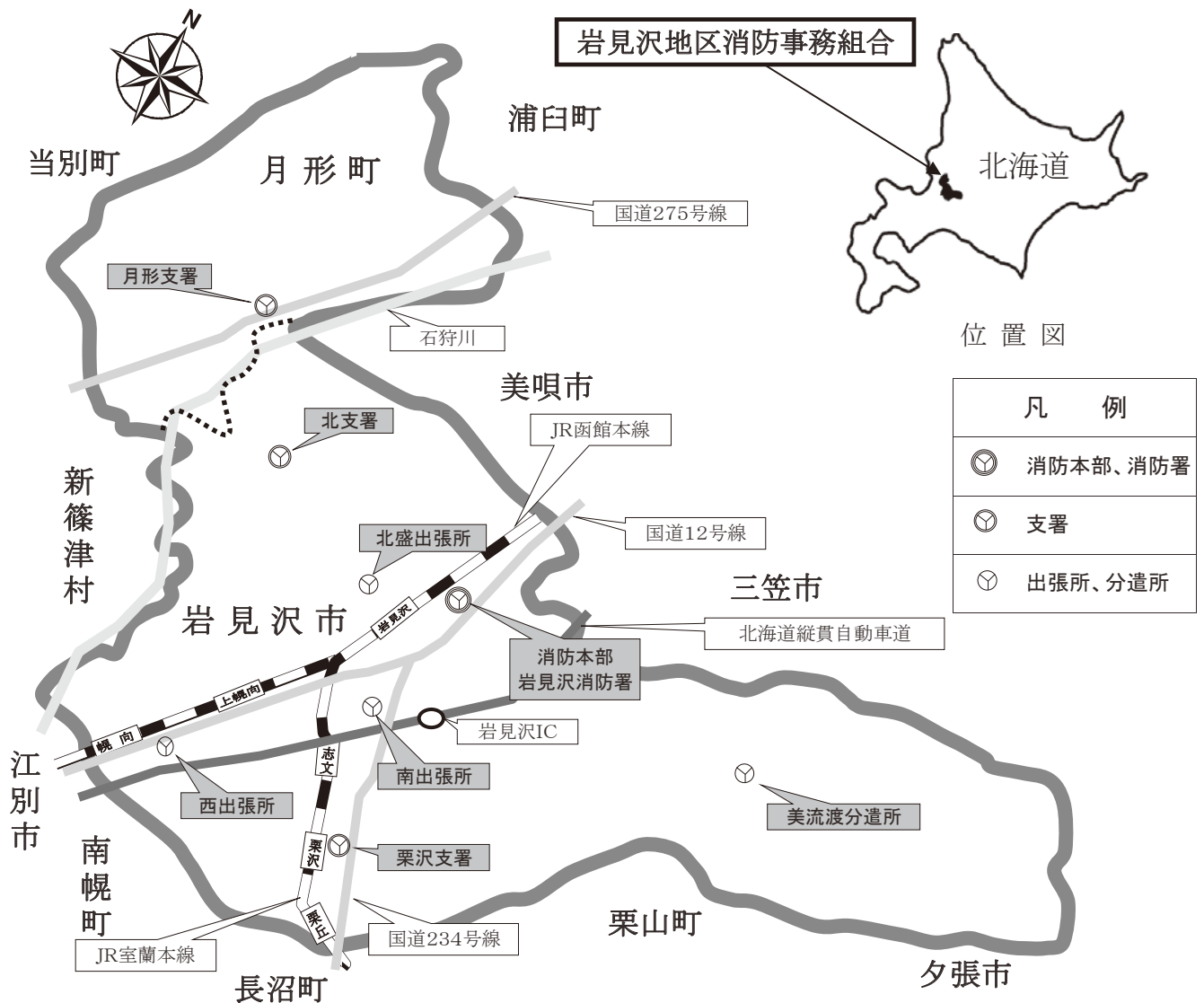
消防通信指令施設の整備経緯と現況	58
119番受報数の現況	60
Net119の登録状況	60
消防通信指令システム系統図	61

総務編

組合の位置と地勢

岩見沢地区消防事務組合は、昭和47年4月1日に設立し、岩見沢市、栗沢町、月形町及び北村の1市2町1村で組織されました。その後、平成18年3月27日に栗沢町と北村が岩見沢市に編入合併され、現在は1市1町で構成されています。

本部の位置は、東経141度46分、北緯43度12分、組合地形は、石狩平野に広がる緩傾斜地帯で、北は浦臼町、東は美唄市・三笠市、南は夕張市・栗山町に接し、周囲は広大な山地と美しい自然に恵まれています。



消防本部・各署所一覧

令和8年4月1日現在

名 称	所在地	建物延面積 (㎡)	土地面積 (㎡)
消防本部・岩見沢消防署	8条東10丁目2番地47	4,455.08	6,600.00
北盛出張所	北本町西2丁目1番地	177.52	930.00
南出張所	南町8条4丁目5番11号	296.00	1,046.21
西出張所	中幌向町71番地7	321.78	2,580.80
美流渡分遣所	栗沢町美流渡栄町93番地2	616.80	1,043.63
栗沢支署	栗沢町東本町19番地	706.52	1,135.83
北支署	北村赤川586番地2	417.43	625.00
月形支署	月形町1047番地13	766.76	4,043.42



消防本部・岩見沢消防署



北盛出張所



南出張所



西出張所



美流渡分遣所



栗沢支署



北支署



月形支署

組合を構成する団体の状況

令和8年4月1日現在

市町村名	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	面 積 (km ²)	市 町 長 名
岩 見 沢 市	72,276	39,943	481.02	市長 松 野 哲
月 形 町	2,582	1,459	150.40	町長 上 坂 隆 一
合 計	74,858	41,402	631.42	



岩見沢市

明治17年、岩見沢村として誕生。明治39年には町制施行、昭和18年には市に昇格。北海道の中心部に位置し、交通の要衝として発展した。

明治の初期、幌内煤田（炭鉱）開発のため札幌～幌内間の道路開削が始められ、工事に従事する者のための休泊所が設けられた。ここで浴（ゆあみ）をし疲れを癒したことから「浴澤（ゆあみさわ）」と称され、後に転化して「岩見澤（いわみざわ）」となったといわれている。

平成18年3月27日、市町村合併により栗沢町、北村が編入された。



月形町

明治14年、北海道最初の監獄となる「樺戸集治監（かばとしゅうちかん）～後に樺戸監獄と改称」の設置により、北海道空知管内第1号の村として誕生。昭和28年には町制が施行された。

「樺戸集治監」に収容された国事犯や凶悪犯たちは道路開削など道央開拓の任にあたるという特異な開拓の歴史を持つ。町名は、集治監の初代典獄である月形潔（つきがたきよし）の姓に由来する。

組合消防のあゆみ

昭和47年	4月 1日	岩見沢地区消防事務組合発足 (岩見沢市、栗沢町、月形町、北村の広域消防体制) 職員7人増員し、総員106人
	5月11日	消防操法の基準制定
	7月20日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車2台配備
	8月 1日	北海道消防操法訓練大会 岩見沢消防団第10分団 小型動力ポンプ操法の部優勝
	9月 5日	岩見沢署、消防ポンプ自動車寄贈(日本損害保険協会)
	20日	消防本部、新庁舎竣工(延面積1,773㎡ 工事費101,000千円)
	26日	岩見沢署、連絡車配備
	12月 4日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
	7日	栗沢支署、水槽付消防ポンプ自動車配備
	15日	北分遣所、庁舎竣工(延面積333.9㎡ 工事費17,997千円)
昭和48年	1月21日	岩見沢市2条西3丁目繁華街で火災(焼損棟数、4棟6戸)
	30日	月形消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	3月26日	岩見沢署、救急自動車寄贈(日本自動車工業会、3B型)
	31日	栗沢支署、庁舎竣工(延面積634.39㎡ 工事費33,082千円)
	4月 1日	防火管理規程を制定 職員12人増員し、総員118人
	8月18日	岩見沢署、オルゴール寄贈(山田治夫氏)
	11月12日	月形出張所、水槽付消防ポンプ自動車配備
	22日	北海道消防協会会長に倉増新八郎団長就任
	12月10日	北分遣所、水槽付消防ポンプ自動車配備
昭和49年	1月10日	日本消防協会副会長に倉増新八郎団長就任
	30日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	4月 1日	職員3人増員し、総員121人 予防事務規程を制定 月形出張所が月形支署、北分遣所が北支署となる
	7月 5日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	9日	岩見沢署、指揮車配備
	12日	第26回北海道消防大会を岩見沢市で開催(岩見沢スポーツセンター)
	20日	岩見沢市2条西3丁目繁華街で火災(焼損面積1,188㎡)
	8月14日	岩見沢署、照明車配備
	11月 1日	岩見沢署、当直隊長を消防司令とし、2人配備
	12月24日	栗沢支署、消防ポンプ自動車配備
	27日	月形支署、指揮車寄贈(元消防団長、福居氏)
	28日	岩見沢署、北盛出張所開設(10人配備)
昭和50年	1月 1日	職員1人増員し、総員122人
	3月 4日	岩見沢署、消防ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車配備
	4月 1日	職員5人増員し、総員127人
	5月28日	北支署、指揮車配備
	8月23日	台風6号で集中豪雨により被害甚大 (降水量、岩見沢地区199mm、栗沢地区180mm、月形地区 床上浸水212戸、 床下浸水74戸、北地区 床上浸水432戸、床下浸水329戸、避難者1,032人)
	9月11日	岩見沢署、広報車寄贈 栗沢支署、指揮車寄贈(空知信用金庫)
	23日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	27日	北支署、救助用3人乗ボート寄贈(月形ライオンズクラブ)
	28日	岩見沢署、大型水槽車配備
	12月 5日	栗沢、月形、北支署消防無線電話機(超短波基地局)設置
昭和51年	1月16日	栗沢支署、美流渡分遣所庁舎竣工(延面積616.80㎡ 工事費78,100千円)
	2月14日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備

	4月 1日	全道の広域消防組合の数44組合184市町村に達する
	7月 15日	全国消防長会広報常任委員会を岩見沢万景閣で開催
	～16日	(東京消防庁 村山茂直総監来岩)
	8月 21日	岩見沢署、救助艇寄贈(岩見沢ライオンズクラブ)
	9月 30日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車2台配備
	11月 29日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
	12月 2日	栗沢支署、消防ポンプ自動車配備
昭和52年	9月 25日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	11月 15日	岩見沢消防80周年記念式典及び記念誌刊行
	12月 7日	岩見沢署、救急自動車寄贈(日本損害保険協会、3B型)
昭和53年	4月 1日	岩見沢署、幌向分遣所開設 職員2人増員し、総員129人
	7月 10日	北消防団、小型動力ポンプ2台配備
	20日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ配備
	9月 8日	岩見沢市夜間急病センター開所
	20日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	22日	栗沢支署美流渡分遣所に消防無線電話機(超短波)設置
	10月 31日	月形支署、大型水槽車配備
	12月 28日	月形支署、救急自動車寄贈(日本損害保険協会、2B型)
昭和54年	8月 8日	北消防団、小型動力ポンプ配備
	10月 11日	岩見沢署、消防無線電話機(超短波共通波)設置
	11月 13日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	30日	栗沢支署、消防ポンプ自動車配備
昭和55年	6月 7日	岩見沢署、指導査察車寄贈(岩見沢ライオンズクラブ)
	11月 4日	月形消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	12月 19日	北支署、小型動力ポンプ付水槽車配備
	22日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備 岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	26日	栗沢支署、小型動力ポンプ付水槽車配備
昭和56年	2月 2日	月形支署、無線式サイレン吹鳴装置設置(札比内)
	2月 11日	岩見沢消防団、日本消防協会表彰旗受章
	4月 1日	職員4人増員し、総員133人
	8月 3日	台風12号による集中豪雨、降水量423mm史上最高示す。
	～4日	北村、岩見沢市幌向、栗沢町方面避難(避難者、岩見沢1,600余人)
	9月 17日	岩見沢署、消防無線電話機(超短波救急波)複信方式に変更
	10月 1日	防火対象物にかかる防火基準適合表示、公表制度実施要綱を定める
	12月 7日	岩見沢署、水槽付消防ポンプ自動車配備
	17日	北支署、救助用6人乗ボート寄贈(ライオンズクラブ国際協会)
昭和57年	4月 1日	岩見沢署、南出張所開設(面積296.0㎡ 工事費65,100千円) 職員7人増員し、総員140人
	6月 8日	岩見沢署、連絡車配備
	8月 1日	岩見沢地区少年婦人防火委員会設立
	18日	岩見沢署、水槽付消防ポンプ自動車配備
	26日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	10月 26日	栗沢支署、小型動力ポンプ付水槽車配備
昭和58年	4月 19日	岩見沢署、救助工作車寄贈(日本損害保険協会)
	7月 16日	北消防団、小型動力ポンプ配備
	29日	北海道消防操法訓練大会で栗沢消防団が小型ポンプ操法の部で優勝
	10月 18日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
	11月 24日	岩見沢署、救急自動車配備(3B型)
	26日	岩見沢署南出張所、救急自動車配備

昭和59年	2月17日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	4月1日	職員3人(岩見沢署)増員し、総員143人
	9月21日	岩見沢署、広報車寄贈(日本消防協会)
	22日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
昭和60年	4月18日	北支署、ホース乾燥塔新設
	30日	ボート転覆事故(岩見沢大正池)高校生4人死亡
	8月30日	栗沢支署、指揮車配備
	10月17日	北支署、消防庁舎物品庫増築(増築面積21.29㎡ 工事費2,480千円)
	29日	栗沢支署、サイレン吹鳴無線制御装置設置
	12月14日	北消防団第2分団機械器具置場新築(面積39.60㎡ 工事費4,450千円)
	24日	岩見沢消防団第17分団機械器具置場兼団員詰所新築 (面積215.30㎡ 工事費24,100千円)
昭和61年	4月30日	水難事故(幾春別川)幼女1人不明
	6月5日	岩見沢署、レスキューツール配備
	10月8日	岩見沢署、水槽付消防ポンプ自動車配備
	15日	岩見沢署、テレホンガイド装置設置(TEL24-0119)
	25日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	12月30日	岩見沢署、総合指令台設置
昭和62年	1月1日	岩見沢署、消防情報地図検索装置設置
	8月21日	全国消防救助技術大会(千葉県千葉市) 岩見沢署 竹本消防士、はしご登はんに出場し入賞
	29日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	9月7日	月形支署、消防ポンプ自動車配備
	10月28日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	11月26日	岩見沢署、指揮車配備
	12月1日	北消防団第4分団機械器具置場新築(面積39.60㎡ 工事費6,000千円)
	23日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
昭和63年	2月9日	岩見沢署、救助資機材配備
	24日	電話集中監視システム設置
	3月30日	組合管内無線中継所設置
	4月1日	職員2人(栗沢支署1人、北支署1人)増員し、総員145人
	6月15日	栗沢支署、救急自動車配備(2B型)
	17日	月形支署、指令車配備
	9月12日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	25日	岩見沢署、救急自動車配備(2B型)
	28日	岩見沢署、救助資機材配備
		北支署、庁舎増改築(事務室23.04㎡ 工事費10,450千円)
		北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	29日	北消防団第3分団機械器具置場新築(面積37.44㎡ 工事費6,380千円)
		北消防団第5分団機械器具置場新築(面積37.44㎡ 工事費6,470千円)
	11月7日	栗沢支署、水槽付消防ポンプ自動車配備
	26日	岩見沢署、化学消防ポンプ自動車配備
	12月24日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
平成元年	5月25日	全国消防長会広報防災委員会常任委員会及び第18回広報委員会を岩見沢観光ホテルで開催(自治省消防庁福沢洋治理事官 外46人来岩)
	6月19日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	8月25日	全国消防救助技術大会(愛知県名古屋市) 岩見沢署 館・平野消防士長、ロープ応用登はんに出場し入賞
	9月8日	北消防団第6分団機械器具置場新築(面積37.44㎡ 工事費7,982千円)
	10月7日	岩見沢署、無停電電源装置設置
	24日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車2台配備

	30日	岩見沢署、車庫排気ガス排出装置設置
	31日	北支署、車庫改築
	11月27日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
	12月4日	上幌向コミュニティ消防センター新築 (面積79.49㎡ 工事費10,351千円)
	14日	月形支署、庁舎建設用地購入
	16日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
平成 2年	2月3日	北支署、水槽付消防ポンプ自動車配備
	3月10日	岩見沢署、西出張所開設(面積277.60㎡ 工事費86,664千円)
	29日	栗沢支署、サイレン遠隔制御受信機設置
	5月30日	栗沢支署、美流渡分遣所・万字分遣所サイレン設置
	10月8日	北支署、2階会議室改築
	29日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	30日	月形支署、広報用放送設備、消防・救急指令装置、モーターサイレン設置
	11月14日	月形支署、庁舎新築開設(面積766.76㎡ 工事費200,442千円)
	30日	岩見沢消防団第14分団機械器具置場新築(面積39.74㎡ 工事費5,459千円) 岩見沢消防団第4分団サイレン塔設置
平成 3年	3月14日	岩見沢署、車庫増築(面積66.47㎡ 工事費18,725千円)
	20日	岩見沢署、車庫2棟新築(6東1 45.00㎡ 6東4 50.00㎡ 工事費22,570千円)
	4月1日	職員3人(栗沢支署2人、月形支署1人)増員し、定員148人
	6月7日	上幌向婦人防火クラブに日本消防協会より防火広報車寄贈
	7月26日	北海道消防操法訓練大会(消防学校)岩見沢消防団ポンプ車操法の部準優勝
	11月5日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	22日	月形支署、水槽付消防ポンプ自動車配備
	12月20日	岩見沢署、はしご付消防自動車配備
平成 4年	3月4日	岩見沢消防団、消防庁長官表彰竿頭授受章
	5月28日	岩見沢地区危険物安全協会20周年記念式典(ホテルサンプラザ)
	7月7日	組合設立20周年記念演習(9条東みなみ公園)、式典(岩見沢スポーツセンター)
	21日	月形支署、折りたたみ式アルミボート配備
	8月28日	全国消防救助技術大会(千葉県千葉市) 岩見沢署 竹本消防士長・藤原消防士、ロープ応用登はんに出場し入賞
	9月30日	岩見沢消防団第15分団機械器具置場改修
	10月30日	岩見沢消防団第4分団待機室改修
	12月3日	岩見沢署、小型動力ポンプ付水槽車配備
平成 5年	1月18日	月形消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	31日	岩見沢署北盛・南出張所、自動車排気ガス排出装置設置
	3月22日	岩見沢署東出張所、自動車排気ガス排出装置設置
	4月1日	岩見沢消防団女性消防団員入団式(10人)
	7月2日	北支署、救助艇及びボートトレーラー配備
	8月23日	月形支署、日本赤十字社月形分区より救急自動車貸与
	10月8日	消防行政管理者研修(JICA研修員 8人)視察来庁
	18日	栗沢消防団、消防ポンプ自動車配備
	28日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	11月15日	稔町コミュニティ消防センター新築(面積91.09㎡ 工事費17,000千円)
平成 6年	2月15日	岩見沢署、消防指令装置設置
	18日	岩見沢署、指導査察車寄贈(岩見沢ロータリークラブ)
	8月12日	西川町コミュニティ消防センター新築(面積91.09㎡ 工事費18,150千円) サイレン吹鳴無線制御装置設置
	25日	全国消防救助技術大会(京都府京都市) 岩見沢署 竹本消防士長・藤原消防士、ロープ応用登はんに出場し入賞
	9月18日	栗沢支署、消防無線電話機(超短波基地局)設置

	27日	月形消防団第2分団詰所改築(156㎡の内63.5㎡改築 工事費7,745千円)
	10月14日	消防行政管理者研修(JICA研修員 8人)視察来庁
平成7年	2月3日	岩見沢署、水槽付消防ポンプ自動車配備
	22日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	3月24日	月形支署、月形消防団緊急伝達システム設置
	4月2日	栗沢消防団女性消防団員入団式(11人)
	9月6日	女性消防団員空知地方支部ブロック大会(北村) 194人
	11日	岩見沢署、救急自動車寄贈(北海道共済農業協同組合連合会)
	11月8日	消防行政管理者研修(JICA研修員 8人)視察来庁
	30日	北支署、消防無線電話機(超短波基地局)設置
平成8年	7月25日	北海道消防操法訓練大会、北消防団小型ポンプ操法の部 準優勝
	8月1日	月形消防団女性消防団員入団式(5人)
	9月30日	北消防団第6分団第1班機械器具置場新築 サイレン吹鳴無線制御装置設置(面積736㎡ 工事費12,368千円)
	10月8日	第23回全道消防職員意見発表大会道央地区予選会(岩見沢市)
	12月20日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
平成9年	7月6日	岩見沢消防公設100年記念行事 記念式典及び記念誌刊行
	7月6日	岩見沢消防記念碑移設(消防庁舎横)
	29～30日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(札幌市)
	9月26日	北支署、無線統制装置整備
	10月31日	栗沢支署、防火水槽整備(栗沢工業団地、ひばりが丘団地)
	12月25日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
平成10年	5月20日	岩見沢消防団、積載車配備
	28～29日	全国消防長会広報防災委員会(岩見沢市)
	8月7日	栗沢支署、消防指令車配備
	9月6日	月形消防公設100周年 記念式典・消防演習
	11月9日	岩見沢署、救急自動車配備
	12月25日	北支署、小型動力ポンプ付水槽車配備
平成11年	3月5日	栗沢消防団、中谷団長消防庁長官表彰功労章受章(東京都)
	4月10日	北支署、地図検索情報システム導入
	6月27日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	8月5日	岩見沢署、庁舎無線塔改修工事
	9月13日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	27日	月形支署、小型動力ポンプ付水槽車配備
平成12年	2月9日	栗沢消防団、日本消防協会表彰旗受章 月形消防団、日本消防協会竿頭綬受章
	3月8日	月形消防団、丸山団長消防庁長官表彰功労章受章(東京都) 岩見沢地区消防事務組合消防本部・岩見沢消防団、消防庁長官表彰旗受章
	4月20日 ～27日	広域応援隊派遣(有珠山)
	7月27日	北海道消防操法訓練大会、栗沢消防団小型ポンプ操法の部で優勝
	9月13日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	18日	栗沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	25日	月形支署、通信指令卓整備
	10月19日	全国消防操法訓練大会、栗沢消防団出場(神奈川県横浜市)
	30日	栗沢支署、救急車寄贈(JA共済連)
	12月7日	栗沢支署、消防庁舎増改築工事
	12月10日	JR岩見沢駅舎、全焼
平成13年	2月27日	月形消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	3月8日	月形消防団、消防庁長官表彰竿頭綬受章
	8月23日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備

	9月10日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	10月13日	消防本部・岩見沢署、庁舎屋上防水工事
	12月17日	栗沢支署、小型動力ポンプ付水槽車配備
	21日	月形消防団、小型動力ポンプ付水槽車配備
平成14年	1月21日	岩見沢署北盛出張所、水槽付消防ポンプ自動車配備
	6月29日	岩見沢地区消防事務組合設立30周年記念演習(市役所駐車場)
	8月21日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車2台配備
	30日	北支署、指揮車配備
	9月 1日	公設栗沢消防団100周年記念事業(式典・消防演習)
	11月 8日	消防本部・岩見沢署、消防庁舎屋上防水改修工事
	12日	栗沢支署美流渡分遣所、庁舎耐震改修工事
平成15年	7月24日	北海道消防操法訓練大会、月形消防団ポンプ車操法の部で優勝
	9月24日	岩見沢署南出張所、救急車配備(寄贈 J A 共済連)
	10月23日	全国消防長会広報防災委員会常任委員会(岩見沢市)
平成16年	1月30日	岩見沢署、救助工作車Ⅱ型配備
	2月24日	月形支署、広報車配備
	3月18日	北消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	12月10日	岩見沢署南出張所、水槽付消防ポンプ自動車配備
平成17年	2月10日	北消防団、日本消防協会表彰旗受章
	3月 4日	北消防団、外崎団長消防庁長官表彰功労章受章(東京都) 栗沢消防団、消防庁長官表彰竿頭授受章
	8月25日	全国消防救助技術大会(埼玉県さいたま市) 岩見沢署 荒井消防士、ロープ登はんに出場し入賞 月形支署 辻・稲井消防士長、ロープ応用登はんに出場
	8月29日	岩見沢署、照明搬送車配備
	10月 3日	月形支署、救急自動車配備(寄贈 J A 共済連)
	10月21日	岩見沢署、消防ポンプ自動車配備
	11月16日	栗沢支署、消防ポンプ自動車配備
平成18年	3月 2日	北消防団、消防庁長官表彰竿頭授受章
	3月27日	市町村合併(栗沢町及び北村が岩見沢市に編入)により組合の構成団体が岩見沢市、月形町の1市1町となる
	11月29日	栗沢支署美流渡分遣所、小型動力ポンプ付水槽車配備
平成19年	1月26日	岩見沢署南出張所、消防ポンプ自動車配備
	10月26日	岩見沢署東出張所、消防ポンプ自動車配備
	12月26日	岩見沢署、救急自動車配備
平成20年	1月 5日	月形消防公設110周年記念消防出初式
	4月 1日	岩見沢消防団に栗沢消防団と北消防団が統合
	7月 5日	北海道洞爺湖サミット(7月7日～9日)開催にあたり、消防特別警戒のため人員及び車両等派遣
	8月31日	月形消防公設110周年記念消防演習
	11月21日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
	11月27日	岩見沢署、災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅲ型配備
平成21年	2月13日	月形消防団、日本消防協会表彰旗受章
	3月 6日	月形消防団、消防庁長官表彰旗受章
	3月27日	岩見沢市水防団(北村地区、栗沢地区)廃止に伴い、岩見沢消防団の水防活動管轄区域が岩見沢市全域となる
	4月 1日	岩見沢地区消防事務組合消防団協力事業所表示制度実施
	7月23日	北海道消防操法訓練大会、岩見沢消防団小型ポンプ操法の部で優勝
	8月20日	全国消防救助技術大会(神奈川県横浜市) 岩見沢署 成田・吉田(光)消防士、ロープ応用登はんに出場し入賞
	9月 1日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備

12月 9日	岩見沢署栗沢支署、水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型配備
平成22年 3月15日	岩見沢署、緊急通信指令装置設置
3月30日	月形消防団、消防ポンプ自動車配備
6月 1日	岩見沢署、救助艇配備
9月22日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
9月25日	岩見沢署、指揮車配備 岩見沢署北盛出張所、消防ポンプ自動車配備
10月25日	岩見沢署、救急自動車配備（寄贈 J A 共済連）
平成23年 3月16日	東日本大震災発生（3月11日）に伴い、宮城県石巻市に緊急消防援助隊（第
～ 21日	二次派遣隊 救助隊）として人員及び車両等派遣
4月 1日	上記震災に対し、宮城県石巻市に緊急消防援助隊（第七次派遣隊 救助隊）
～ 7日	として人員及び車両等派遣
4月 1日	岩見沢消防団、女性分団発足
9月 8日	消防長 高橋広、救急功労者表彰受賞（東京都）
11月 8日	災害発生時における災害関連機関と月形町の情報共有に関する協定調印
11月12日	岩見沢署東出張所、水槽付消防ポンプ自動車配備
平成24年 3月28日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車2台配備
6月20日	I F C A A 国際消防救助隊合同訓練（札幌市）
～ 22日	緊急消防援助隊北海道合同訓練（札幌市）
9月 9日	局地的な大雨により南利根別川が氾濫。南町・大和地区を中心とした市内全
～ 12日	域各所で道路冠水や住宅浸水等の被害。 （住宅被害：床上浸水7棟、床下浸水85棟 冠水被害：158.9ha）
9月26日	岩見沢署、資機材搬送車配備
10月 1日	岩見沢、月形119番通信業務一元化
11月14日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
平成25年 2月28日	月形支署、水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（C A F S）配備
10月 3日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車1台配備
10月 5日	岩見沢市安全安心防災合同パレード
10月11日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練（苫小牧市）
～ 12日	
11月25日	消防団120年・自治体消防65周年記念大会（東京都）
平成26年 2月 4日	岩見沢署、指導査察車配備
2月12日	北支署、水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（C A F S）配備
10月29日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車1台配備
10月30日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車1台配備
11月27日	岩見沢署、人員搬送車配備
平成27年 9月30日	岩見沢消防団、小型動力ポンプ付積載車1台配備
10月22日	岩見沢署西出張所、救急自動車配備（寄贈 J A 共済連）
10月28日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練（岩手県）
～ 29日	
11月13日	第5回 緊急消防援助隊全国合同訓練（千葉県）
～ 14日	
12月11日	岩見沢署栗沢支署、救急自動車配備
平成28年 4月 1日	消防救急デジタル無線運用開始
9月29日	岩見沢署南出張所、救急自動車配備
11月25日	月形支署、消防団サイレン遠隔制御装置設置
12月 1日	岩見沢署西出張所、車庫新築（面積44.18㎡ 工事費13,472千円）
平成29年 7月31日	消防本部・岩見沢署、新消防庁舎竣工（面積4,455.08㎡ 工事費2,317,075千円）
9月 4日	岩見沢署、救急自動車配備
9月 5日	消防本部・岩見沢署、新消防庁舎運用開始
9月 5日	高機能消防指令センター運用開始
9月 5日	岩見沢署、東出張所閉鎖（平成30年度 解体）

	10月16日	岩見沢地区消防事務組合新消防庁舎開所式開催
	12月15日	月形消防団、小型動力ポンプ付積載車配備
平成30年	1月5日	月形消防公設120周年記念消防出初式
	2月28日	岩見沢署、救助資機材整備
	9月2日	月形消防公設120周年記念消防演習
	9月6日	北海道胆振東部地震発生に伴い、厚真町に北海道広域消防相互応援協定にかかる応援隊(道央ブロック第一次派遣隊 後方支援隊)として人員及び車両等派遣
	～8日	
	11月9日	岩見沢消防団第21分団器具置場新築移設工事(面積42.02㎡ 工事費7,182千円)
	11月27日	岩見沢消防団、消防ポンプ自動車1台配備
平成31年	1月23日	岩見沢署西出張所、水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型(CAFS)配備
	3月18日	岩見沢消防団、消防ポンプ自動車1台配備(無償貸付 総務省消防庁)
	4月19日	夕張市石炭博物館火災発生(4月18日)に伴い、夕張市に北海道広域消防相互
	～20日	応援協定にかかる応援隊(第一次派遣隊)として人員及び車両等派遣 上記火災に対し、4月22日～5月5日の間(第二、四、七、十二、十七次派遣隊) 人員及び車両等派遣
令和元年	6月4日	株式会社オーツカよりドローン寄贈(設立50周年記念)
	7月1日	有限会社北央防災設備よりテント寄贈(設立30周年記念)
	8月25日	全国消防救助技術大会(岡山県岡山市) 岩見沢署 黒田・山下消防士長、ロープ応用登はんに出場 岩見沢署 下山消防士、はしご登はんに出場し入賞 月形支署 呉羽・岡田消防士長、浅井消防士、ほふく救出に出場
	11月1日	岩見沢消防団、北海道消防協会表彰旗受章
	12月14日	岩見沢署、はしご付消防自動車配備
令和2年	1月28日	新型コロナウイルス感染者が道内で初めて確認される。(感染拡大防止のため 各種行事等の開催が中止となる。)
	5月1日	多言語通訳サービス運用開始
	7月1日	Net119運用開始
	7月13日	岩見沢署南出張所、庁舎屋上防水工事
令和3年	3月5日	岩見沢署、資機材搬送車配備
	4月1日	美流渡分遣所の所管を栗沢支署から岩見沢署消防課へ変更
	6月3日	岩見沢市開催の第73回北海道消防大会が新型コロナウイルス感染症拡大防止の ため中止となる。
	7月23日	東京2020オリンピック、パラリンピック競技大会がコロナ禍で開幕
	12月17日	岩見沢署、救急自動車配備
令和4年	1月18日	岩見沢消防団、広報車1台配備(寄贈 公益社団法人日本消防協会)
	2月16日	月形支署、救急自動車配備
	7月7日	全国消防長会北海道支部警防委員会(岩見沢市)
	8月26日	全国消防救助技術大会(東京都立川市) 岩見沢署 鈴木消防士、はしご登はんに出場し入賞
	11月10日	全国消防長会警防防災委員会(岩見沢市)
	12月1日	北海道損害保険事務所よりドローン寄贈(設立50周年記念)
令和5年	3月3日	岩見沢消防団、日本消防協会特別表彰まとい受章
	5月16日	岩見沢地区危険物安全協会50周年記念式典(ホテルサンプラザ)、テント寄贈
	9月19日	岩見沢署、救助工作車Ⅱ型配備
	12月21日	有限会社北央防災設備より水力換気ノズルCOBRA寄贈(設立35周年記念)
令和6年	5月30日	第8回予防業務優良事例表彰、優秀賞受賞
	8月23日	全国消防救助技術大会(千葉県市原市) 岩見沢署 田中消防士、はしご登はんに出場
	9月18日	月形支署、広報車配備
令和7年	3月28日	高機能消防指令センター整備(サーバー系更新)
	4月1日	職員1人(月形支署)増員し、定員149人

令和 8年	8月30日	全国消防救助技術大会（兵庫県三木市） 岩見沢署 原橋消防士長、田中消防士、ロープ応用登はんに出場し入賞
	9月26日	岩見沢署北盛出張所、災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型配備
	3月30日	消防救急デジタル無線整備（主要基幹装置更新）
	8月22日	全国消防救助技術大会（新潟県新潟市） 岩見沢署 永桶消防士、はしご登はんに出場し入賞
	8月29日	第78回北海道消防大会を岩見沢市で開催（岩見沢市民会館・文化センター）

歴代役職者

管理者

令和8年4月1日現在

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	初代	国 兼 孝 治	S 4 7 . 4 . 1	
2	第 2 代	能 勢 邦 之	H 2 . 1 0 . 2 0	
3	第 3 代	渡 辺 孝 一	H 1 4 . 1 1 . 1 2	
4	第 4 代	松 野 哲	H 2 4 . 9 . 9	

消防長

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	第 6 代	後藤田 章 二	S 4 7 . 4 . 1	
2	第 7 代	珍 田 卓 幸	S 4 8 . 6 . 1	
3	第 8 代	杉 浦 公 亮	S 4 9 . 1 2 . 2 1	
4	第 9 代	谷 内 三 郎	S 5 3 . 1 2 . 2 8	
5	第10代	藤 本 良 雄	S 5 8 . 6 . 1	
6	第11代	荒 川 清	S 5 9 . 6 . 1	S60.12.1～H61.3.31署長兼務
7	第12代	坂 本 和 芳	S 6 2 . 1 0 . 1	
8	第13代	藤 原 幸 彦	H 2 . 4 . 1	
9	第14代	嵐 幸 雄	H 6 . 4 . 1	
10	第15代	菅 田 征 夫	H 7 . 1 0 . 1	
11	第16代	松 尾 秀 壽	H 1 2 . 4 . 1	
12	第17代	浜 本 猛	H 1 3 . 4 . 1	H13.4.1～H15.3.31署長兼務
13	第18代	鈴 木 浩 之	H 1 5 . 4 . 1	
14	第19代	千 葉 勝 美	H 2 0 . 4 . 1	
15	第20代	高 橋 広	H 2 1 . 4 . 1	
16	第21代	安 田 勉	H 2 4 . 4 . 1	
17	第22代	水 上 勝 則	H 2 6 . 4 . 1	
18	第23代	北 敏 之	H 2 7 . 4 . 1	
19	第24代	館 守	H 3 1 . 4 . 1	
20	第25代	渡 辺 正 勝	R 4 . 4 . 1	
21	第26代	藤 原 弘 和	R 7 . 4 . 1	

消防署長

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	第 3 代	佐 藤 吉 松	S 4 7 . 4 . 1	
2	第 4 代	斉 藤 友 一	S 4 7 . 6 . 1	
3	第 5 代	田 公 典 義	S 5 9 . 6 . 1	
4	第 6 代	出 口 正 敏	S 6 0 . 4 . 1	
5	第 7 代	荒 川 清	S 6 0 . 1 2 . 1	
6	第 8 代	木 村 鉄五郎	S 6 1 . 4 . 1	
7	第 9 代	中 山 昇	H 9 . 4 . 1	
8	第10代	浜 本 猛	H 1 0 . 4 . 1	
9	第11代	道 下 榮 司	H 1 5 . 4 . 1	
10	第12代	千 葉 勝 美	H 1 7 . 4 . 1	
11	第13代	高 橋 広	H 2 0 . 4 . 1	
12	第14代	安 田 勉	H 2 1 . 4 . 1	
13	第15代	水 上 勝 則	H 2 4 . 4 . 1	
14	第16代	北 敏 之	H 2 6 . 4 . 1	
15	第17代	館 守	H 2 7 . 4 . 1	
16	第18代	渡 辺 正 勝	H 3 1 . 4 . 1	
17	第19代	竹 中 雅 文	R 4 . 4 . 1	
18	第20代	藤 原 弘 和	R 6 . 4 . 1	
19	第21代	田 村 紀 男	R 7 . 4 . 1	

議長

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	初 代	笠 原 喜平治	S 4 7. 4. 1	
2	第 2 代	石 尾 源 治	S 4 8. 7. 3 0	
3	第 3 代	松 下 久 信	S 5 0. 5. 2 7	
4	第 4 代	安 彦 昭	S 5 4. 5. 2 9	
5	第 5 代	森 本 和 男	S 5 6. 3. 2 5	
6	第 6 代	宮 越 善 三	S 5 8. 5. 1 3	
7	第 7 代	滝 本 常 吉	S 6 0. 4. 1 1	
8	第 8 代	辰 田 義太郎	S 6 1. 1 2. 2 2	
9	第 9 代	細 岡 典 昭	S 6 2. 6. 2 3	
1 0	第 1 0 代	中 川 数 男	H 1. 6. 3 0	
1 1	第 1 1 代	瀬 能 晃	H 3. 6. 1 0	
1 2	第 1 2 代	安 藤 富 夫	H 5. 6. 1 1	
1 3	第 1 3 代	中 田 猛	H 7. 6. 1	
1 4	第 1 4 代	高 橋 義 明	H 9. 5. 1 9	
1 5	第 1 5 代	富 岡 潤 美	H 1 1. 6. 4	
1 6	第 1 6 代	村 上 勝 則	H 1 3. 6. 1 4	
1 7	第 1 7 代	仁 志 紘 一	H 1 5. 6. 6	
1 8	第 1 8 代	山 本 賢 一	H 1 7. 6. 2 9	
1 9	第 1 9 代	鎌 田 誠	H 1 9. 6. 2 1	
2 0	第 2 0 代	伊 澤 幸 信	H 2 1. 6. 1 8	
2 1	第 2 1 代	笹 島 清 一	H 2 3. 6. 2 3	
2 2	第 2 2 代	野 尻 清	H 2 5. 6. 2 6	
2 3	第 2 3 代	太 田 博 之	H 2 7. 7. 7	
2 4	第 2 4 代	石 黒 武 美	H 2 9. 6. 2 9	
2 5	第 2 5 代	峯 泰 教	R 1. 6. 2 7	
2 6	第 2 6 代	豊 岡 義 博	R 3. 6. 3	
2 7	第 2 7 代	平 野 義 文	R 5. 6. 1 5	
2 8	第 2 8 代	宮 下 透	R 7. 7. 7	

副議長

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	初 代	箕 田 重 一	S 4 7. 4. 1	
2	第 2 代	山 本 光 義	S 5 0. 5. 2 7	
3	第 3 代	武 田 貞 光	S 5 4. 5. 2 9	
4	第 4 代	斉 藤 孝 敏	S 5 8. 5. 3 0	
5	第 5 代	今 久 男	S 6 2. 6. 2 3	
6	第 6 代	羽 根 久 生	H 1. 6. 3 0	
7	第 7 代	鎌 田 賢 一	H 3. 6. 1 0	
8	第 8 代	町 田 一 雄	H 5. 6. 1 1	
9	第 9 代	小 野 英 夫	H 7. 6. 1	
1 0	第 1 0 代	坂 本 昇	H 9. 6. 2 3	
1 1	第 1 1 代	小 友 寛 光	H 1 1. 6. 4	
1 2	第 1 2 代	吉 田 義 一	H 1 3. 6. 1 4	
1 3	第 1 3 代	尾 田 則 幸	H 1 5. 6. 6	
1 4	第 1 4 代	安 藤 勝 芳	H 1 7. 6. 2 9	
1 5	第 1 5 代	安 藤 勝 芳	H 1 8. 5. 1 6	
1 6	第 1 6 代	宮 元 哲 夫	H 1 9. 6. 2 1	
1 7	第 1 7 代	金 澤 博	H 2 3. 6. 2 3	
1 8	第 1 8 代	大 釜 登	H 2 7. 7. 7	
1 9	第 1 9 代	堀 広 一	R 1. 6. 2 7	
2 0	第 2 0 代	東 出 善 幸	R 5. 6. 1 5	

岩見沢消防団長

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	第 2 代	倉 増 新八郎	S 4 7. 4. 1	
2	第 3 代	吉 本 利 之	S 5 7. 4. 1	
3	第 4 代	坂 上 長 蔵	S 5 9. 4. 1	
4	第 5 代	柿 本 良 三	S 6 2. 4. 1	
5	第 6 代	平 木 忠 男	H 8. 4. 1	
6	第 7 代	坂 尾 尚 哉	H 1 1. 4. 1	
7	第 8 代	大久保 恒 夫	H 1 7. 4. 1	
8	第 9 代	松 井 英 雄	H 2 3. 4. 1	
9	第 1 0 代	仁 志 正 樹	H 3 0. 7. 1	

月形消防団長

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	第 5 代	福 居 憲 吾	S 4 7. 4. 1	
2	第 6 代	桑 原 孝 一	S 5 5. 6. 2 7	
3	第 7 代	丸 山 秀 郎	H 3. 4. 1	
4	第 8 代	亀 倉 勝 幸	H 1 2. 4. 1	
5	第 9 代	門 脇 芳 夫	H 1 7. 4. 1	
6	第 1 0 代	山 田 啓 一	H 2 8. 4. 1	
7	第 1 1 代	中 嶋 雅 義	H 3 1. 4. 1	
8	第 1 2 代	渡 邊 淳 博	R 4. 4. 1	

旧栗沢消防団長 H 2 0. 4. 1 岩見沢消防団と統合

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	第 3 代	渡 辺 正 信	S 4 7. 4. 1	
2	第 4 代	吉 田 定 男	S 5 3. 9. 1	
3	第 5 代	早 川 二三四	S 5 9. 4. 1	
4	第 6 代	中 谷 茂	H 5. 9. 1	
5	第 7 代	西 村 康 徳	H 1 6. 4. 1	
6	第 8 代	荒 井 弘	H 1 9. 4. 1	

旧北消防団長 H 2 0. 4. 1 岩見沢消防団と統合

No.	代	氏名	就任年月日	備考
1	第 2 代	渡 辺 一 一	S 4 7. 4. 1	
2	第 3 代	岩 田 秀 夫	S 5 9. 2. 1	
3	第 4 代	外 崎 善 一	H 7. 4. 1	
4	第 5 代	鈴 内 拓 雄	H 1 8. 4. 1	

消 防 表 彰

褒 章

令和 8 年 7 月 1 日現在

氏 名	区 分 (年)	所属
倉増新八郎	藍綬褒章 (昭42)	岩見沢
	紺綬褒章 (昭48)	
	藍綬褒章 (昭48)	
福居 憲吾	紺綬褒章 (昭50)	月 形
	藍綬褒章 (昭55)	
	藍綬褒章 (昭53)	
渡辺 一一	藍綬褒章 (昭53)	北
桑原 孝一	藍綬褒章 (平 3)	月 形

叙 位・叙 勲

氏 名	区 分 (年)	所属
深見松太郎	勲五等双光旭日章 (昭40)	岩見沢
	従五位 (昭50)	
村上 源一	勲五等瑞宝章 (昭47)	〃
	従五位 (平 6)	
米川富三郎	勲六等单光旭日章 (昭47)	栗 沢
平田 常雄	勲六等单光旭日章 (昭48)	〃
大友 信夫	勲六等瑞宝章 (昭49)	岩見沢
	正七位 (昭52)	
長谷川栄吉	勲七等瑞宝章 (昭49)	〃
藤林 政蔵	勲七等瑞宝章 (昭49)	〃
菊谷 晋	勲七等青色桐葉章 (昭50)	〃
笹木 光則	勲七等青色桐葉章 (昭50)	月 形
土谷 久一	勲六等单光旭日章 (昭50)	栗 沢
加藤 三雄	勲六等瑞宝章 (昭51)	岩見沢
河合 耕吉	勲六等瑞宝章 (昭52)	栗 沢
大山 直吉	勲六等瑞宝章 (昭52)	岩見沢
高野 寅治	勲七等瑞宝章 (昭52)	〃
渡辺 正信	勲五等瑞宝章 (昭53)	栗 沢
磯野 芳雄	勲六等瑞宝章 (昭53)	岩見沢
沢田 政市	勲七等瑞宝章 (昭54)	〃
中村 武雄	勲四等瑞宝章 (昭54)	〃
	従五位 (平 9)	
小林 林蔵	勲六等瑞宝章 (昭54)	〃
橋本 岩雄	勲七等青色桐葉章 (昭55)	〃
及川 孝志	勲六等单光旭日章 (昭55)	栗 沢
荒井 鴻二	勲七等青色桐葉章 (昭55)	岩見沢
杉田太三郎	勲七等青色桐葉章 (昭56)	〃
倉増新八郎	勲三等瑞宝章 (昭56)	〃
	従四位 (昭60)	
辻 繁定	勲六等瑞宝章 (昭56)	〃
鎌田 春一	勲七等青色桐葉章 (昭56)	北
佐藤 吉松	勲五等瑞宝章 (昭58)	岩見沢
	正七位 (平13)	
吉本 利之	勲五等瑞宝章 (昭59)	〃

氏 名	区 分 (年)	所属
山崎 庄一	勲六等单光旭日章 (昭59)	栗 沢
馬淵 政之	勲六等单光旭日章 (昭59)	岩見沢
渡辺 一一	勲五等瑞宝章 (昭60)	北
	従六位 (昭61)	
福居 憲吾	勲五等瑞宝章 (昭60)	月 形
西塚 芳一	勲六等瑞宝章 (昭60)	栗 沢
坂上 長蔵	勲五等瑞宝章 (昭62)	岩見沢
大杉 譲賢	勲七等瑞宝章 (昭63)	月 形
溝口 藤一	勲六等瑞宝章 (平元)	栗 沢
橋本 数雄	勲六等瑞宝章 (平 3)	北
田公 典義	勲五等瑞宝章 (平 3)	岩見沢
	正七位 (平 3)	
溝口 武雄	勲六等瑞宝章 (平 4)	〃
佐藤幸治郎	勲六等瑞宝章 (平 5)	〃
戸田 勇	勲六等单光旭日章 (平 5)	北
	勲六等单光旭日章 (平 7)	
穴田 清吉	正七位 (平18)	岩見沢
	勲六等单光旭日章 (平 8)	
竹内清一郎	勲五等瑞宝章 (平 9)	北
	従六位 (平24)	
山田 規	勲六等单光旭日章 (平10)	月 形
桑原 孝一	勲五等双光旭日章 (平11)	〃
窪田 和夫	勲六等单光旭日章 (平11)	岩見沢
柿本 良三	勲六等瑞宝章 (平13)	〃
斉藤 友一	勲五等双光旭日章 (平14)	〃
	正六位 (平23)	
丸山 秀郎	瑞宝双光章 (平15)	月 形
吉田 定男	瑞宝单光章 (平15)	栗 沢
早川二三四	勲五等瑞宝章 (平15)	〃
吉井 勝治	瑞宝单光章 (平16)	岩見沢
	従七位 (平16)	
小松 精一	瑞宝单光章 (平16)	栗 沢
大澤 長命	瑞宝单光章 (平16)	岩見沢
	従七位 (平18)	
阿波加深明	瑞宝单光章 (平16)	〃
	従七位 (平16)	
水間 緑朗	瑞宝单光章 (平17)	〃
鎌水 進	瑞宝单光章 (平17)	〃
平井 勉	瑞宝单光章 (平17)	〃
中谷 茂	瑞宝双光章 (平18)	栗 沢
谷川 覚	瑞宝单光章 (平18)	〃
	従七位 (平18)	

叙 位・叙 勲

氏 名	区 分 (年)	所属
長谷川 清	瑞宝单光章 (平19)	岩見沢
	正七位 (平19)	
小野寺喜三郎	瑞宝单光章 (平19)	岩見沢
荒井 三行	瑞宝单光章 (平20)	〃
	正七位 (令 4)	
富樫 光男	瑞宝单光章 (平20)	栗 沢
	従七位 (平20)	
出口 正敏	瑞宝双光章 (平20)	岩見沢
	正七位 (平25)	
岩田 榮一	瑞宝单光章 (平20)	〃
	正七位 (平20)	
会沢 辰也	瑞宝单光章 (平21)	〃
坂本 辰夫	瑞宝单光章 (平21)	月 形
	正七位 (平21)	
中川 甫	瑞宝单光章 (平21)	岩見沢
平木 勇	瑞宝单光章 (平21)	〃
	正七位 (平21)	
亀倉 勝幸	瑞宝双光章 (平21)	月 形
佐々木恵三	瑞宝单光章 (平21)	〃
齋藤 稔	瑞宝双光章 (平22)	岩見沢
岩崎 幸勝	瑞宝单光章 (平22)	〃
川島 清	瑞宝单光章 (平22)	〃
	正七位 (平22)	
中山 昇	瑞宝双光章 (平22)	〃
外崎 善一	瑞宝双光章 (平22)	北
青山 吉雄	瑞宝单光章 (平23)	月 形
高橋 一良	瑞宝单光章 (平23)	岩見沢
道下 榮司	瑞宝单光章 (平24)	〃
	正七位 (平29)	
平木 忠男	瑞宝单光章 (平24)	〃
永安 正宣	瑞宝单光章 (平24)	〃
中谷 俊松	瑞宝单光章 (平24)	〃
秦野 光徳	瑞宝单光章 (平25)	〃
小林 市藏	瑞宝单光章 (平25)	〃
	正七位 (平25)	
長永 克己	瑞宝单光章 (平25)	〃
秋山 芳信	瑞宝单光章 (平26)	〃
鈴木 浩之	瑞宝双光章 (平26)	〃
大久保恒夫	瑞宝单光章 (平26)	〃
大釜 紀夫	瑞宝单光章 (平26)	月 形
中田 正雄	瑞宝单光章 (平27)	岩見沢
石崎 幸男	瑞宝单光章 (平27)	〃
浜本 猛	瑞宝双光章 (平27)	〃
	従六位 (平27)	
池田 憲二	瑞宝单光章 (平28)	〃
大灘 光治	瑞宝单光章 (平28)	〃

氏 名	区 分 (年)	所属
石田 清	瑞宝单光章 (平29)	月 形
柳川 紀夫	瑞宝单光章 (平29)	〃
高宮 繁樹	瑞宝单光章 (平30)	岩見沢
	正七位 (平30)	
千葉 勝美	瑞宝双光章 (平30)	〃
遠山 訓夫	瑞宝单光章 (平30)	〃
	正七位 (平30)	
西村 康德	瑞宝单光章 (平30)	栗 沢
茶木 栄治	瑞宝单光章 (平30)	岩見沢
植松 廣	瑞宝单光章 (平30)	月 形
鈴木 俊彦	瑞宝单光章 (平31)	栗 沢
田野 満	瑞宝单光章 (令元)	岩見沢
松井 英雄	瑞宝双光章 (令元)	〃
門脇 芳夫	瑞宝双光章 (令 2)	月 形
谷 節夫	瑞宝单光章 (令 2)	岩見沢
保田 憲司	瑞宝单光章 (令 2)	〃
高橋 広	瑞宝双光章 (令 3)	〃
金澤 博	瑞宝单光章 (令 3)	月 形
稲井 正美	瑞宝单光章 (令 4)	〃
野畑 一義	瑞宝单光章 (令 4)	岩見沢
山田 啓一	瑞宝单光章 (令 5)	月 形
早川 建一	瑞宝单光章 (令 5)	栗 沢
中嶋 雅義	瑞宝单光章 (令 5)	月 形
安田 勉	瑞宝双光章 (令 6)	岩見沢
鈴木 晴良	瑞宝单光章 (令 6)	〃
箱山 保二	瑞宝单光章 (令 6)	栗 沢
高橋 隆徳	瑞宝单光章 (令 7)	岩見沢
館 守	瑞宝双光章 (令 7)	〃
	従六位 (令 7)	
山崎 一幸	瑞宝单光章 (令 7)	〃
荒井 弘	瑞宝单光章 (令 7)	〃
米谷 清美	瑞宝单光章 (令 7)	月 形
杉本 政利	瑞宝单光章 (令 8)	岩見沢
今井 均	瑞宝单光章 (令 8)	〃

消 防 組 織

令和 8 年 4 月 1 日現在

組合議会	9 名
------	-----

岩 見 沢 市 7 名
月 形 町 2 名

管 理 者	副 管 理 者
岩見沢市長 松野 哲	月形町長 上坂 隆一

監査委員

[識見] 岩見沢市
篠原 藤雄
[議選] 岩見沢市
武田 貞行

公平委員

岩見沢市（兼）
田村 秀樹
九津見 千佳子
亀山 強

会 計 管 理 者

岩見沢市会計管理者
菊田 薫

消防本部

総 務 課	庶 務 係 財 務 係
警 防 課	警 防 係 消 防 団 係
予 防 課	予 防 係 保 安 係

消 防 長
次 長
署長兼務

岩見沢消防署

岩 見 沢 署	消 防 一 課	通 信 係
		救 急 係
		総 務 係
		警 防 係
		予 防 係
		北 盛 出 張 所
	消 防 二 課	南 出 張 所
		西 出 張 所
		美 流 渡 分 遣 所
		栗 沢 支 署
栗 沢 支 署	総 務 係	警 防 係
		予 防 係
北 支 署	総 務 係	警 防 係
		予 防 係
	警 防 係	予 防 係
		予 防 係
月 形 支 署	総 務 係	警 防 係
		予 防 係
	警 防 係	予 防 係
		予 防 係

岩見沢消防団（ 2 3 分 団 ） 消防団長 仁志 正樹

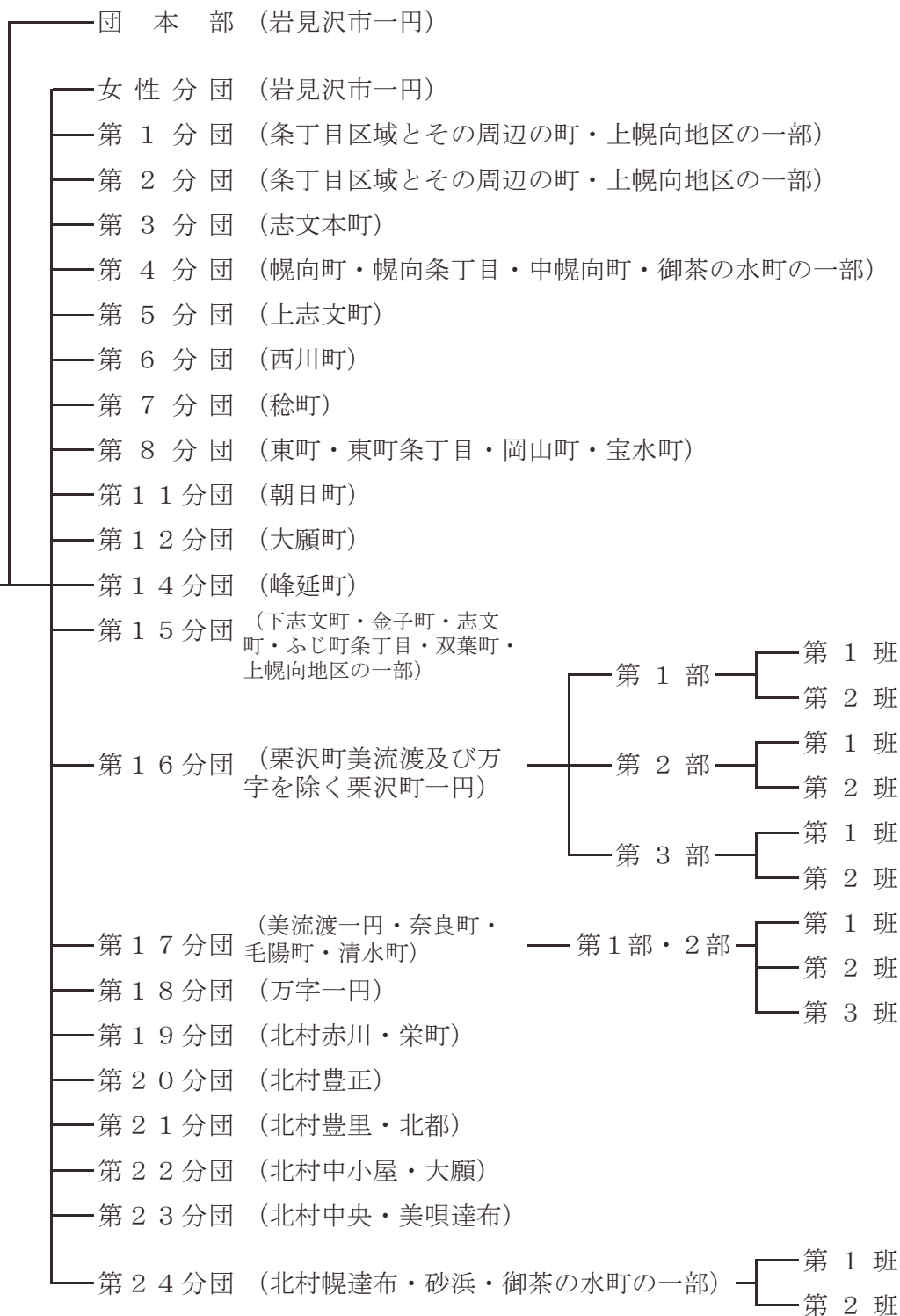
月 形 消 防 団 （ 3 分 団 ） 消防団長 渡邊 淳博

消 防 団 組 織

令和 8 年 4 月 1 日現在

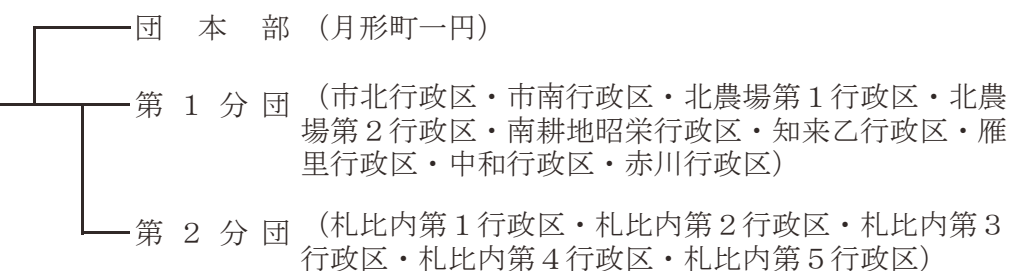
岩見沢消防団

団 長 — 副団長



月形消防団

団 長 — 副団長



岩見沢地区消防事務組合議会議員名簿

令和8年4月1日現在

選出 区分	氏 名	役 職 名	備 考
岩 見 沢 市	猪 口 満 雅	代 表 議 員	
	坂 井 秋 子		
	武 田 貞 行		
	松 本 一 郎		
	宮 下 透	議 長	
	山 田 靖 廣		
	大 和 勝		
月 形 町	東 出 善 幸	副 議 長	
	若 井 昭 二	代 表 議 員	

消防職員の現況

令和8年4月1日現在

(単位：人)

所属 \ 階級	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消防士	合 計
消防本部	1	1	8	6	5		21
岩見沢消防署			13	36	52	21	122
岩見沢署			10	32	50	17	109
月形支署			3	4	2	4	13
合計	1	1	21	42	57	21	143
構成比	0.7%	0.7%	14.7%	29.4%	39.8%	14.7%	100.0%

消防職員の勤続年数現況

令和8年4月1日現在

(単位：人)

階級 勤続年数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	合計	構成比
1年未満				1		5	6	4.2%
1年～5年未満			1		2	15	18	12.6%
5年～10年未満			1		10	1	12	8.4%
10年～15年未満				1	22		23	16.1%
15年～20年未満				14	19		33	23.0%
20年～25年未満				13	2		15	10.5%
25年～30年未満			3	6			9	6.3%
30年～35年未満			8	3			11	7.7%
35年以上	1	1	8	4	2		16	11.2%
合計	1	1	21	42	57	21	143	100.0%

注：平均勤続年月 17年7ヶ月

消防職員の年齢構成

令和8年4月1日現在

(単位：人)

階級 年齢区分	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	合計	構成比
20歳未満						2	2	1.4%
20歳～24歳						17	17	11.9%
25歳～29歳					10	2	12	8.4%
30歳～34歳					28		28	19.6%
35歳～39歳				14	16		30	20.9%
40歳～44歳			1	15	1		17	11.9%
45歳～49歳			2	6			8	5.6%
50歳～54歳			9	3			12	8.4%
55歳以上	1	1	9	4	2		17	11.9%
合計	1	1	21	42	57	21	143	100.0%

注：平均年齢 43歳5ヶ月

消防職員の免許等取得状況

令和8年4月1日現在

(単位：人)

種 類 \ 階 級			消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	合 計
自運 動免 車許	第 二 種 ・ 大 型				1	1	1		3
	第一種	大 型	1	1	18	40	56	6	122
		普 通			2	1		14	17
危険物取扱者	乙種	第 4 類	1	1	17	4	41	4	68
	丙 種		1	1	3	1	1		7
消防設備士	甲種	第 4 類				1			1
	乙 種	第 1 類				1			1
		第 4 類			2	4			6
		第 5 類			2	3			5
		第 6 類			4	9	5		18
		第 7 類			1	1			2
救隊 急員	救急救命士			1	6	17	28	14	66
	救急科（標準課程）		1		8	20	28		57
	救急Ⅱ課程				5	4	2		11
予術 防資 技格	防火査察専門員		1		12	21	23	1	58
	消防用設備等専門員					9	7		16
	危険物専門員		1		3	9	4		17
自動車整備管理者			1		5	7			13
防災士				1	9	21	29		60
酸素欠乏危険作業主任者				1	10	22	32		65
硫化水素危険作業主任者				1	10	17	25		53
高所作業車運転資格者					2		1		3
第二級陸上特殊無線技士				1	14	30	18	1	64
第三級陸上特殊無線技士			1		5	11	39	14	70
二級小型船舶操縦士			1	1	17	32	13	1	65
移動式クレーン			1	1	16	36	24		78
玉掛け			1	1	16	36	24		78
大型車両系機械					3	3	3		9
小型車両建設機械			1	1	14	35	48		99
チェーンソー			1	1	8	21	23		54
ガス溶接			1	1	6	6	9		23
アーク溶接			1	1	6	15	12		35
潜水士					1	4	7		12
毒劇物取扱者							1		1
研削といし				1	2	5	11	1	20

※運転免許～第一種大型自動車免許取得者で第二種大型自動車免許取得者を「第二種・大型」。
第一種大型自動車免許取得者を「第一種・大型」。第一種大型自動車免許未取得で中型、準中型、
普通自動車免許取得者を「第一種・普通」とする。

消防職員・団員の学校教育及び研修状況

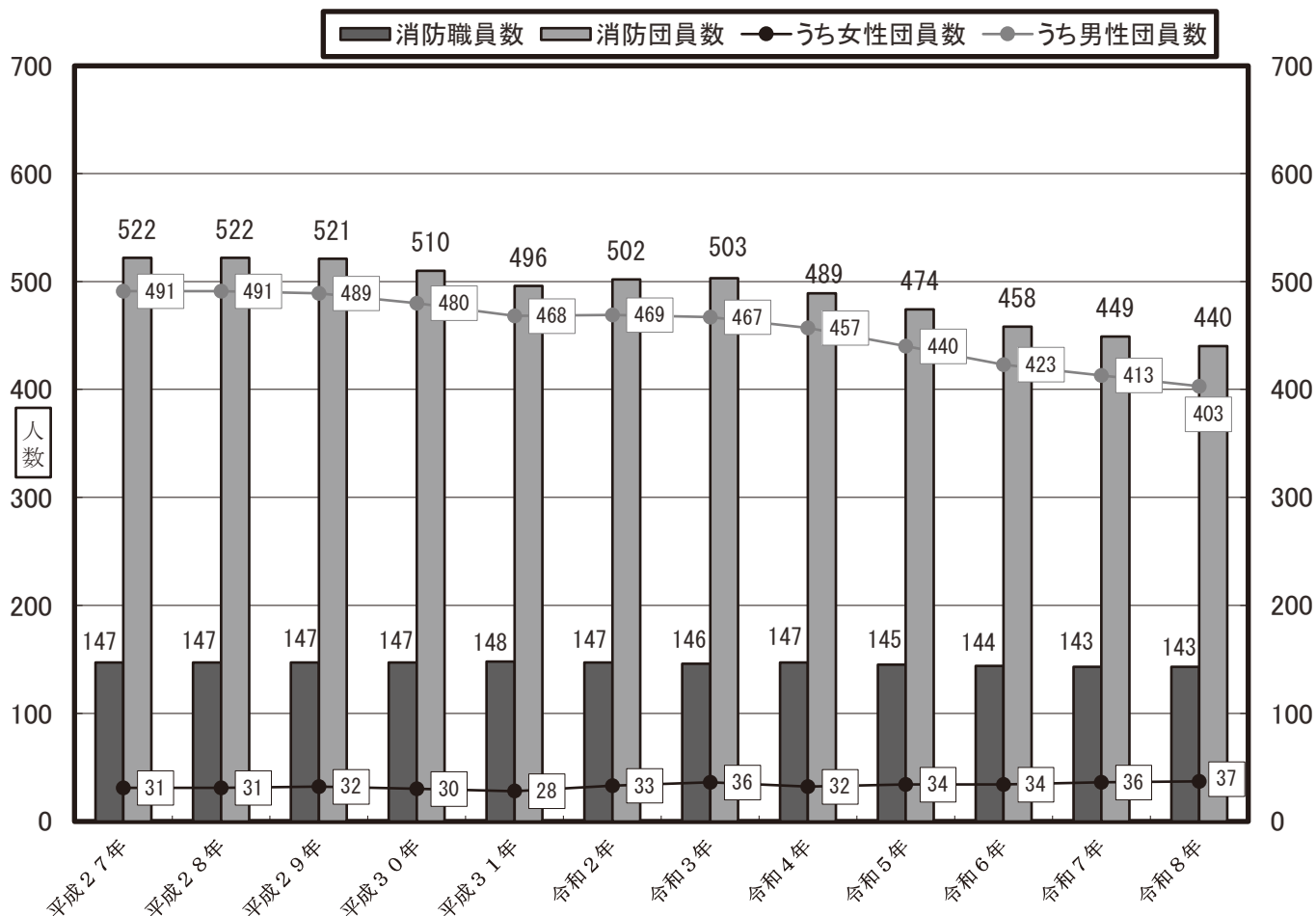
令和7年4月1日～令和8年3月31日

区 分	課 程 別		実教育 日 数 (日)	署所別研修受講者数(人)			合 計 (人)
				消防本部	岩見沢消防署		
					岩見沢署	月形支署	
北 海 道 消 防 学 校	初任 教育	前 期	93		1	1	2
		後 期	95		2	1	3
	専 科 教 育	警 防 科	11		1		1
		予 防 査 察 科	10		1		1
		危 険 物 科	5	1			1
		火 災 調 査 科	12	1			1
		救 急 科	23		1		1
		救 助 科	17		1		1
		幹部 教育	幹 部 科	8		1	
	特 別 教 育	は し ご 自 動 車 運 用 課 程	4		2		2
		広 域 応 援 指 揮 課 程	8		1		1
		気 管 挿 管 再 認 定 講 習	1		5	1	6
		ビ デ オ 硬 性 喉 頭 鏡 講 習	1		4		4
		消防団員 幹部教育	指 揮 幹 部 科	入校予定者の体調不良により入校辞退			
札 幌 市 消防学校	救 急 救 命 士 養 成 課 程		98		1		1
合 計				2	21	3	26

消防職員・団員数の推移

各年4月1日現在

(単位：人)



消防職員・団員1人当たりの面積・人口・世帯数

令和8年4月1日現在

区 分	市 町 別		組 合 全 体
	岩 見 沢 市	月 形 町	
職 員 数	130	13	143
団 員 数	363	77	440
面 積 (単 位 : km^2)	481.02	150.40	631.42
消防職員1人当たり	3.7	11.57	4.42
消防団員1人当たり	1.33	1.95	1.44
人 口 (単 位 : 人)	72,276	2,582	74,858
消防職員1人当たり	556	199	523
消防団員1人当たり	199	34	170
世 帯 数 (単 位 : 世 帯)	39,943	1,459	41,402
消防職員1人当たり	307	112	290
消防団員1人当たり	110	19	94

令和8年度当初予算

(単位：千円)

歳 入				歳 出			
款	項	金額	比率	款	項	金額	比率
1. 分担金及び負担金		2,053,053	88.3%	1. 議会費		790	0.0%
	1. 負担金	2,053,053		1. 議会費		790	
2. 使用料及び手数料		1,109	0.0%	2. 総務費		752,453	32.4%
	1. 手数料	1,109		1. 消防本部費		750,916	
3. 財産収入		2,000	0.1%	2. 監査委員費		1,537	
	1. 財産売払収入	2,000		3. 消防費		1,482,164	63.7%
4. 寄附金		1	0.0%	1. 岩見沢署費		1,250,323	
	1. 寄附金	1		2. 月形支署費		231,841	
5. 繰越金		1	0.0%	4. 公債費		89,067	3.8%
	1. 繰越金	1		1. 公債費		89,067	
6. 諸収入		2,710	0.1%	5. 予備費		1,000	0.1%
	1. 雑入	2,710		1. 予備費		1,000	
7. 組合債		266,600	11.5%				
	1. 組合債	266,600					
歳入合計		2,325,474	100.0%	歳出合計		2,325,474	100.0%

令和8年度団体別当初予算

(単位：千円)

区 分 市町別	団 体 別 計 一 般 会 計	組 合 負 担 金			対一般会計 構 成 比
		本部費	署 費	計	
岩 見 沢 市	48,500,000	316,313	1,140,697	1,457,010	3.00%
月 形 町	5,266,000	29,120	220,521	249,641	4.74%
計	53,766,000	345,433	1,361,218	1,706,651	3.17%

いわみざわ消防フェア・旧消防フェスティバルの実施状況

開催年月		参加者数	開催場所	開催テーマ
消防フェスティバル 第 1回（平成16年）	10月17日	約1,500人	市役所 駐車場	「見て 触れて 体験して」
第 2回（平成17年）	9月25日	約2,000人		「住民（あなた）が主役安全なまち いわみざわ」
第 3回（平成18年）	7月23日	約2,300人		「消防士は カッコいい」
第 4回（平成19年）	7月29日	約2,000人		「守ろう・広めよう・身につけよう！！」
第 5回（平成20年）	8月 3日	約2,000人		「ひろめよう！あなたから始まる防災意識」
第 6回（平成21年）	8月 9日	約2,300人		「見て 体験 高めよう防災意識！」
第 7回（平成22年）	8月 1日	約1,100人		「さあ 集まれ 未来の消防士！」
第 8回（平成23年）	7月24日	約2,500人		「防災への小さな一歩、確かな一歩！」
第 9回（平成24年）	7月29日	約3,500人		「まもり愛 つなぎ愛 未来は僕の手で」
第10回（平成25年）	8月 4日	約2,800人	岩見沢駅東市民広場 イベントホール 赤れんが	「みんなで築こう 安心 岩見沢」
第11回（平成26年）	7月27日	約1,000人		「未来の消防士 今、走り出す」
第12回（平成27年）	8月 1日	約3,000人		「フェスティバルに集まれ！楽しんで防災への第一歩」
第13回（平成28年）	7月31日	約3,500人		「体験・安心・笑顔」
いわみざわ消防フェア 第 1回（平成30年）	9月 1日	約1,200人	消防庁舎 敷地内	体験型・展示型・見学型の開催
第 2回（令和元年）	8月24日	約 900人		
（令和 2 年）		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		
（令和 3 年）		第 7 3 回北海道消防大会が岩見沢市開催のため中止。 （※後に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上記大会が中止となる。）		
（令和 4 年）		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		
（令和 5 年）		駐車場の確保が困難なため事業内容の見直し及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		
第 3回（令和 6 年）	7月27日	約2,300人	イオン岩見沢店 駐車場	体験型・展示型・見学型の開催
第 4回（令和 7 年）	8月 2日	約1,700人		
第 5回（令和 8 年）	8月 8日	約1,300人		

主な開催内容

1. 消防車両及び装備品の展示、車両乗車、放水、煙、応急手当等の体験学習
2. 消防団員の活動紹介及び募集、岩見沢市による非常食の提供

警 防 編

消防機械等及び消防水利の設置状況

令和8年4月1日現在

所 属 区 分		消 防 本 部 ・ 署	月 形 支 署	岩 見 沢 消 防 団	月 形 消 防 団	合 計
機 械 ・ 器 具 (台・隻・器)	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2		5	1	8
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	6	1			7
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 槽 車	4	1		1	6
	は し ご 付 消 防 自 動 車	1				1
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車			23	2	25
	化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1				1
	救 助 工 作 車	1				1
	救 急 自 動 車	5	1			6
	指 揮 車	1				1
	人 員 搬 送 車	1				1
	照 明 搬 送 車	1				1
	資 機 材 搬 送 車	2				2
	指 導 査 察 車	1				1
	ホ イ ー ル ロ ー ダ ー	6				6
	広 報 車	1	1	1		3
	連 絡 車	2	1			3
	合 計	35	5	29	4	73
	救 助 艇	2	2			4
	救 助 艇 ト レ ー ラ ー	1	1			2
	小 型 動 力 ポ ン プ			3		3
無 線 (機)	空 気 呼 吸 器	66	9		2	77
	酸 素 呼 吸 器	5				5
	車 載 型 移 動 局 無 線 装 置	29	4	29	4	66
	可 搬 型 移 動 局 無 線 装 置	1	1			2
	卓 上 型 可 搬 無 線 装 置	9	1			10
	卓 上 型 受 令 機	6	1			7
	携 帯 型 移 動 局 無 線 装 置	46	8			54
水 (基 利)	署 活 系 携 帯 型 無 線 装 置	52	10			62
	合 計	143	25	29	4	201
	消 火 栓	989	17			1,006
	防 火 水 槽	129	36			165
ホ ー ス (本)	計	1,118	53			1,171
	6 5 mm ホ ー ス	367	65	670	62	1,164
	5 0 mm ホ ー ス	473	73		17	563
そ の 他 施 設 (簡所・棟・塔)	合 計	840	138	670	79	1,727
	署・支署・出張所・分遣所	7	1			8
	器 具 置 場			23	1	24
	サイレン塔等	4	1	15	12	33
	サイレン吹鳴装置					
訓 練 棟 塔	訓 練 棟	1				1
	無 線 塔	1				1

消防団の現況

令和8年4月1日現在

(単位：人)

区分	分 団 別	階 級 別									合 計
		団 長	副団長	本部長	分団長	副本部長	副分団長	部 長	班 長	団 員	
岩 見 沢 消 防 団	団 本 部	1	3	1	1						6
	女 性 分 団				1		1	2	4	18	26
	第 1 分 団				1		1	2	4	19	27
	第 2 分 団				1		1	3	6	33	44
	第 3 分 団				1		1	1	2	11	16
	第 4 分 団				1		1	1	2	12	17
	第 5 分 団				1		1	1	2	9	14
	第 6 分 団				1		1	1	2	14	19
	第 7 分 団				1		1	1	2	16	21
	第 8 分 団				1		1	1	1	3	7
	第 1 1 分 団				1		1	1	2	5	10
	第 1 2 分 団				1		1	1	1		4
	第 1 4 分 団				1		1	1	2	6	11
	第 1 5 分 団										
	第 1 6 分 団				1		1	3	6	34	45
	第 1 7 分 団				1		1	2	2	9	15
	第 1 8 分 団				1		1	1	1	2	6
	第 1 9 分 団				1		1	1	2	4	9
	第 2 0 分 団				1		1	1	2	8	13
	第 2 1 分 団				1		1	1	2	7	12
	第 2 2 分 団				1		1	1	2	9	14
	第 2 3 分 団				1		1	1	2	6	11
	第 2 4 分 団				1		1	1	2	11	16
	小 計	1	3	1	22		21	28	51	236	363
月 形 消 防 団	団 本 部	1	2	1			1		1	9	15
	第 1 分 団				1		1	2	5	30	39
	第 2 分 団				1		1	2	4	15	23
	小 計	1	2	1	2		3	4	10	54	77
合 計		2	5	2	24		24	32	61	290	440

消防団員の年額報酬の現況

令和 8 年 4 月 1 日現在

(単位：円)

階級別 区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
岩見沢地区	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500
空知管内平均	97,622	76,378	61,056	52,611	43,156	39,767	37,600
北海道平均	91,929	72,070	54,857	46,876	41,376	38,646	36,928

※北海道平均、空知管内平均は「令和4年4月1日現在」

□過去の改正の経過

(単位：円)

階級別 改正年	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
令和4年	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500
平成15年	77,400	58,500	44,700	36,900	30,900	27,700	24,900
平成7年	70,800	54,900	40,800	31,300	27,500	24,900	22,300
平成元年	66,200	51,300	37,800	28,500	24,800	22,300	19,800
昭和62年	63,700	49,400	36,400	27,400	23,900	21,500	19,100
昭和61年	61,300	47,500	35,000	26,400	23,000	20,700	18,400

消防団員の出勤報酬の現況

令和 8 年 4 月 1 日現在

(単位：円)

種 別 区 分	災 害 出 動		警戒・訓練・防火査察・その他の出勤	
	1 日	4時間未満	1 日	4時間未満
岩見沢地区	8,000	4,000	6,200	3,100

□過去の改正の経過

令和 4 年 … 1 人 1 回につき3,600円（1回4時間を限度とし、4時間を超えるときは、4時間ごとに1回を加算する。）→災害1日8,000円・4時間未満4,000円、その他1日6,200円・4時間未満3,100円

総務省消防庁通知「消防団員の報酬等の基準の策定等について」に基づき費用弁償から出勤報酬へ変更する。

平成24年 … 災害 1 人 1 回につき3,600円→1 人 1 回につき3,600円（1回4時間を限度とし、4時間を超えるときは、4時間ごとに1回を加算する。）

平成 5 年 … 災害3,300円→3,600円、その他2,900円→3,100円

平成 4 年 … 災害3,000円→3,300円、その他2,700円→2,900円

平成 3 年 … 災害2,800円→3,000円、その他2,500円→2,700円

平成元年 … 災害2,300円→2,800円、その他2,000円→2,500円

昭和57年 … 災害2,000円→2,300円、その他1,700円→2,000円

予 防 編

指定防火対象物査察実施状況

令和7年1月1日～12月31日

市 町 別 指定防火対象物区分			対 象 物 数(件)			査 察 実 施 件 数(件)			指 導 件 数 (件)
			岩 見 沢 市	月 形 町	小 計	岩 見 沢 市	月 形 町	小 計	
(1)	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場	7	1	8	7	1	8	20
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	96	3	99	95	3	98	111
(2)	イ	キャバレー・カフェー							
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	8		8	8		8	8
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等							
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	2		2	2		2	
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店 の 類							
	ロ	飲 食 店	101	6	107	95	6	101	182
(4)		百貨店・マーケット・その他 物品販売業を営む店舗	135	6	141	129	6	135	129
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	21	27	48	20	27	47	45
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	1,297	44	1,341	1,288	44	1,332	1,089
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	72	1	73	67	1	68	40
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	56	8	64	56	8	64	53
	ハ	老人デイサービスセンター等	141	9	150	138	9	147	87
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	24		24	23		23	4
(7)		小中高等学校・各種学校の類	70	3	73	68	3	71	51
(8)		博 物 館 ・ 図 書 館	3	2	5	2	2	4	4
(9)	イ	公 衆 浴 場 の う ち 蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場							
	ロ	イ に 掲 げ る 公 衆 浴 場 以 外 の 公 衆 浴 場	4		4	3		3	
(10)		車 両 の 停 車 場	2		2	2		2	
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 の 類	99	3	102	95	3	98	116
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 場	279	19	298	268	19	287	201
	ロ	ス タ ジ オ の 類							
(13)	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	87	4	91	85	4	89	37
	ロ	飛 行 機 等 の 格 納 庫							
(14)		倉 庫	402	20	422	398	20	418	172
(15)		前各項に該当しない事業場	479	38	517	470	38	508	247
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する 複 合 用 途 防 火 対 象 物	242	18	260	224	18	242	307
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	179	3	182	173	3	176	142
(17)		重 要 文 化 財	1	1	2	1	1	2	3
合 計			3,807	216	4,023	3,717	216	3,933	3,048

指定防火対象物査察指導状況

令和7年1月1日～12月31日

(単位：件)

指導項目別	市 町 別		
	岩 見 沢 市	月 形 町	合 計
消 火 器 具	695	4	699
屋 内 消 火 栓 設 備	29	5	34
ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	10	1	11
水 噴 霧 消 火 設 備 等 (泡・不活性ガス・ハロゲン・粉末)	3		3
屋 外 消 火 栓 設 備			
動 力 消 防 ポ ン プ 設 備			
自 動 火 災 報 知 設 備	137	4	141
ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備			
消防機関へ通報する火災報知設備	8		8
漏 電 火 災 警 報 器	12		12
非 常 警 報 設 備 ・ 器 具	20		20
避 難 器 具	16	5	21
誘 導 灯 ・ 誘 導 標 識	228	11	239
消 防 用 水			
消 火 活 動 上 必 要 な 施 設 (連結送水管・排煙・連結散水設備)			
防 火 管 理	819	72	891
防 災 管 理			
火 気 関 係 等	7	2	9
少 量 危 険 物 等	690	34	724
住 宅 用 火 災 警 報 器	66		66
そ の 他	154	16	170
合 計	2,894	154	3,048

中高層建築物状況

令和8年4月1日現在

(単位：施設)

区 分			4 階			5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	合 計
			岩見沢市	月 形 町	小 計	岩見沢市	岩見沢市	岩見沢市	岩見沢市	岩見沢市	岩見沢市	
(1)	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場										
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	1		1							1
(2)	イ	キャバレー・カフェー										
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ンス ホール										
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等										
	ニ	カラオケボックス等										
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店 の 類										
	ロ	飲 食 店	1		1	4						5
(4)		百貨店・マーケット・その他 物品販売業を営む店舗				1						1
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	1		1	2	1		1			5
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	71	2	73	40	3	4			2	122
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	6		6	2	3					11
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	2		2	1						3
	ハ	老人デイサービスセンター等				1						1
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校										
(7)		小中高等学校・各種学校の類	7		7	1						8
(8)		博 物 館 ・ 図 書 館										
(9)	イ	公 衆 浴 場 の う ち 蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場										
	ロ	イ に 掲 げ る 公 衆 浴 場 以 外 の 公 衆 浴 場										
(10)		車 両 の 停 車 場										
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 の 類	1		1							1
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 場	1		1							1
	ロ	ス タ ジ オ の 類										
(13)	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場						1				1
	ロ	飛 行 機 等 の 格 納 庫										
(14)		倉 庫										
(15)		前各項に該当しない事業場	11	7	18	4	1		1			24
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する 複 合 用 途 防 火 対 象 物	13		13	11	4	1		1	1	31
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	3		3	4	1					8
(17)		重 要 文 化 財										
合 計			118	9	127	71	13	6	2	1	3	223

防火管理者選任及び消防計画届出状況

市 町 別 指定防火対象物区分			該当防火対象物数 (A)			防火管理者選任数 (B)		
			岩見沢市	月形町	小計	岩見沢市	月形町	小計
(1)	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場	2	1	3	2	1	3
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	94	3	97	94	3	97
(2)	イ	キャバレー・カフェー						
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ンス ホール	7		7	7		7
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等						
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	2		2	2		2
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店 の 類						
	ロ	飲 食 店	60	1	61	51	1	52
(4)		百貨店・マーケット・その他 物品販売業を営む店舗	80	4	84	75	4	79
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	6		6	6		6
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	65		65	59		59
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	16	1	17	16	1	17
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	30	3	33	29	3	32
	ハ	老人デイサービスセンター等	50	3	53	49	3	52
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	6		6	6		6
(7)		小中高等学校・各種学校の類	32	3	35	30	3	33
(8)		博 物 館 ・ 図 書 館	3		3	3		3
(9)	イ	公 衆 浴 場 の う ち 蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場						
	ロ	イ に 掲 げ る 公 衆 浴 場 以 外 の 公 衆 浴 場	1		1	1		1
(10)		車 両 の 停 車 場						
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 の 類	61	3	64	56	3	59
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 場	3		3	3		3
	ロ	ス タ ジ オ の 類						
(13)	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場						
	ロ	飛 行 機 等 の 格 納 庫						
(14)		倉 庫	4		4	3		3
(15)		前各項に該当しない事業場	41	6	47	39	6	45
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する 複 合 用 途 防 火 対 象 物	116	12	128	107	12	119
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	45	3	48	42	3	45
(17)		重 要 文 化 財						
合 計			724	43	767	680	43	723

令和7年12月31日現在

(単位：件)

消防計画届出数 (C)			選 任 率 (B/A)			届 出 率 (C/A)		
岩 見 沢 市	月 形 町	小 計	岩 見 沢 市	月 形 町	小 計	岩 見 沢 市	月 形 町	小 計
2	1	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
79	3	82	100.0%	100.0%	100.0%	84.0%	100.0%	84.5%
6		6	100.0%		100.0%	85.7%		85.7%
2		2	100.0%		100.0%	100.0%		100.0%
45	1	46	85.0%	100.0%	85.2%	75.0%	100.0%	75.4%
70	4	74	93.8%	100.0%	94.0%	87.5%	100.0%	88.1%
5		5	100.0%		100.0%	83.3%		83.3%
57		57	90.8%		90.8%	87.7%		87.7%
16	1	17	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
28	3	31	96.7%	100.0%	97.0%	93.3%	100.0%	93.9%
44	3	47	98.0%	100.0%	98.1%	88.0%	100.0%	88.7%
6		6	100.0%		100.0%	100.0%		100.0%
29	3	32	93.8%	100.0%	94.3%	90.6%	100.0%	91.4%
3		3	100.0%		100.0%	100.0%		100.0%
1		1	100.0%		100.0%	100.0%		100.0%
55	3	58	91.8%	100.0%	92.2%	90.2%	100.0%	90.6%
3		3	100.0%		100.0%	100.0%		100.0%
2		2	75.0%		75.0%	50.0%		50.0%
37	6	43	95.1%	100.0%	95.7%	90.2%	100.0%	91.5%
101	12	113	92.2%	100.0%	93.0%	87.1%	100.0%	88.3%
40	3	43	93.3%	100.0%	93.8%	88.9%	100.0%	89.6%
631	43	674	93.9%	100.0%	94.3%	87.2%	100.0%	87.9%

建築物同意事務状況

令和7年1月1日～12月31日

(単位：件)

区 分			市 町 別		岩 見 沢 市		月 形 町		合 計
					新 築	増改築等	新 築	増改築等	件 数
(1)	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場							
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場							
(2)	イ	キャバレー・カフェー							
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル							
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等							
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等							
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店 の 類							
	ロ	飲 食 店							
(4)		百貨店・マーケット・その他 物品販売業を営む店舗			4	1			5
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所			1	1			2
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅			1				1
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所			1				1
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等							
	ハ	老人デイサービスセンター等			1	1			2
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校							
(7)		小中高等学校・各種学校の類							
(8)		博 物 館 ・ 図 書 館							
(9)	イ	公 衆 浴 場 の う ち							
	ロ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 に 掲 げ る 公 衆 浴 場 以 外 の 公 衆 浴 場							
(10)		車 両 の 停 車 場							
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 の 類				2			2
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 場			1				1
	ロ	ス タ ジ オ の 類							
(13)	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場							
	ロ	飛 行 機 等 の 格 納 庫							
(14)		倉 庫			5	1			6
(15)		前各項に該当しない事業場			7				7
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する 複 合 用 途 防 火 対 象 物							
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物							
一 般 住 宅 等					4				4
昇 降 機 ・ 工 作 物									
合 計					25	6			31

各種届出状況

令和7年1月1日～12月31日

区 分	件 数	区 分	件 数
工事整備対象設備等着工届出書	49	少量危険物貯蔵取扱所設置届出書	52
消 防 用 設 備 等 設 置 届 出 書	122	指定可燃物貯蔵取扱所設置届出書	7
防火対象物使用開始(変更)届出書	77	圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始(廃止)届出書	4
防火管理者選任(解任)届出書	156	集 合 煙 突 発 煙 試 験 申 請 書	
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届 出 書	190	ネオン管灯設備設置届出書	
燃料電池発電・発電・変電・蓄電池設備設置届出書	13	劇場等の裸火使用・危険物品持込申請書	8
炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー・給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備・ヒートポンプ冷暖房機・火花を生ずる設備・放電加工機設置(変更)届出書	12	水素ガスを充填する気球の設置(変更)届出書	
住宅用防災警報器設置届出書	26	自 衛 消 防 訓 練 実 施 計 画 書	835
防火対象物点検結果報告書	75	催 物 開 催 届 出 書	20
消防用設備等点検結果報告書	1,381	露 店 等 の 開 設 届 出 書	77

消防協力団体

令和8年4月1日現在

団 体 名	設 立 年 月 日	会 員 数
岩見沢地区危険物安全協会 (岩見沢市危険物安全協会)	昭和47年4月1日 (昭和41年4月1日)	126 事業所
岩 見 沢 市 火 防 協 会	昭和32年9月20日	216 町内会 25,610 世帯
岩 見 沢 地 区 防 火 委 員 会	昭和57年8月1日	幼年消防クラブ 12 団体 少年消防クラブ 2 団体

幼年・少年消防クラブ状況

令和8年4月1日現在

(単位：人)

名 称	男女別		指導者	合 計	設 立 年 月 日
	男	女			
認 定 こ ど も 園 よ い こ の く に 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	36	36	26	98	昭和59年2月1日
み な み 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	14	21	7	42	平成2年6月27日
岩見沢ひがし認定こども園幼年消防クラブ	26	14	9	49	平成2年10月15日
さくらぎ保育園幼年消防クラブ	14	24	12	50	平成2年11月26日
みどり保育園幼年消防クラブ	10	9	7	26	平成2年11月26日
なかよし保育園幼年消防クラブ	6	18	13	37	平成2年11月26日
みその保育園幼年消防クラブ	13	11	18	42	平成4年4月1日
北村幼年消防クラブ	9	9	8	26	平成9年6月25日
認定こども園岩見沢めぐみ幼稚園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	13	14	16	43	平成15年4月1日
花の里こども園幼年消防クラブ	8	22	6	36	平成28年4月12日
くりっこ幼年消防クラブ	14	3	10	27	平成29年6月1日
日の出保育園幼年消防クラブ	29	21	19	69	令和7年4月15日
第二区会少年消防クラブ	9	5	2	16	昭和49年10月17日
若駒少年消防クラブ	18	14	7	39	昭和62年6月28日
合 計	219	221	160	600	

岩見沢地区危険物安全協会

（設 立 趣 旨）

会員相互の融和親睦を深め危険物の安全な貯蔵取扱いを行い、災害の絶無を期し事業の繁栄を促進する。

（事 業 内 容）

- （１）危険物の防火についての研究、講習会の開催について。
- （２）危険物取扱者の育成に関すること。
- （３）危険物火災予防の推進について。
- （４）油処理剤の備蓄及び貸出しについて。
- （５）危険物防災功労者の表彰について。

岩見沢市火防協会

（設 立 趣 旨）

町会を通じて、活発な防火・防災活動を行い、自主的な体勢を確立して、火災の絶無を期しもって明るく住みよい街づくりに寄与する。

（事 業 内 容）

- （１）火災予防及び防火・防災思想の普及宣伝に関すること。
- （２）防火・防災についての研修会、講演会の開催、見学等に関すること。
- （３）消火器の普及取扱い訓練に関すること。
- （４）消防団員の後援並びに激励に関すること。
- （５）優良役員及び団体の表彰に関すること。
- （６）その他この会の目的達成に必要な事項。

岩見沢地区防火委員会

（設 立 趣 旨）

幼年少年消防クラブ並びに女性防火クラブの育成強化を図ることにより、幼少年期における防火防災意識の高揚と女性の防火意識を高め、地域並びに家庭からの災害を防止し、災害のない明るい街づくりを推進する。

（事 業 内 容）

- （１）防火・防災思想の普及、火災予防の推進に関すること。
- （２）幼年少年消防クラブの育成指導に関すること。
- （３）優良クラブ員及び優良クラブの表彰に関すること。

火災出動状況

令和7年1月1日～12月31日

区 分 市町別	火災出動件数 (件)	火災件数 (件)	そ の 他 の 件 数				
			火 事 騒	誤 報	虚 報	応 援	そ の 他
岩 見 沢 市	69	21	7	36		1	4
月 形 町	2	1				1	
合 計	71	22	7	36		2	4

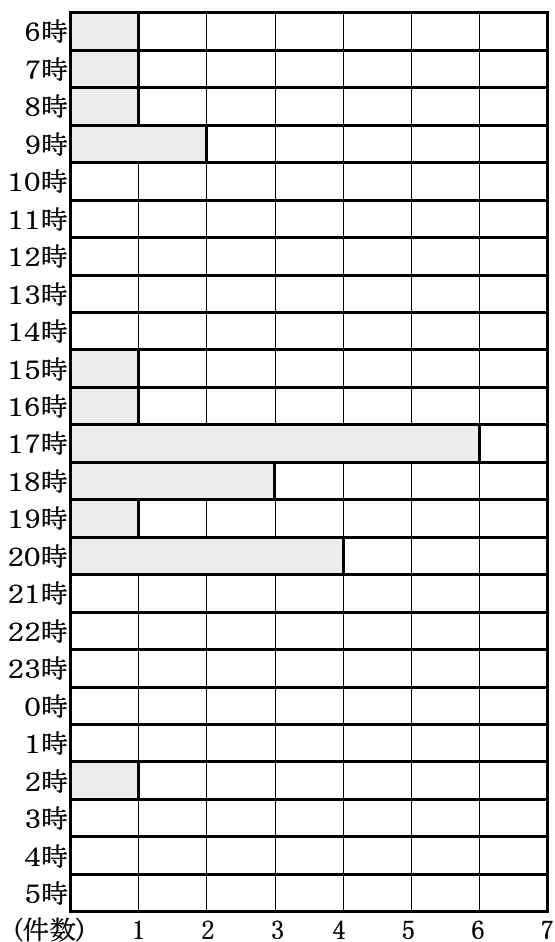
火 災 状 況

令和7年1月1日～12月31日

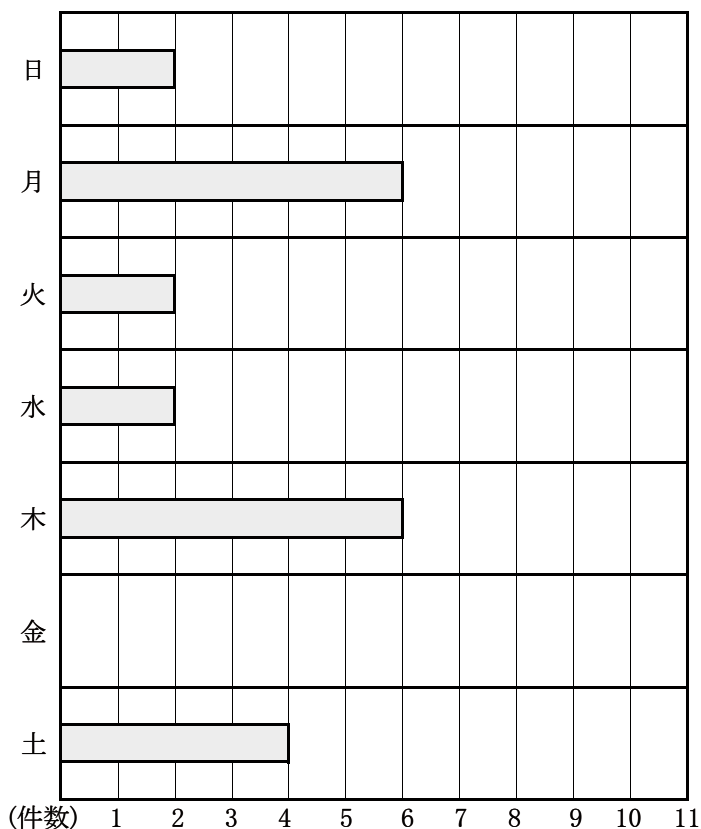
区 分 市町別	火災件数 (件)	建 物	林 野	車 両		船 舶	航 空 機	そ の 他	焼 損 棟 数 (棟)	爆 発 損 害 棟 数 (棟)	り 災 世 帯 数 (世帯)	損 害 見 積 額 (千円)	死 傷 者 数	
				自 動 車 車 両	鉄 道 車 両								死 者 (人)	負 傷 者 (人)
岩 見 沢 市	21	12		6				3	14		7	84,237	1	4
月 形 町	1							1						
合 計	22	12		6				4	14		7	84,237	1	4

※ 爆発とは、爆発現象により建物等に損害が発生したが、焼き損害がなかったものをいう。

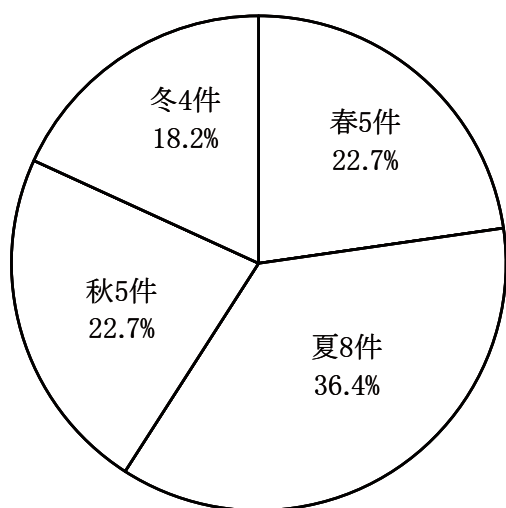
時間別火災件数



曜日別火災件数

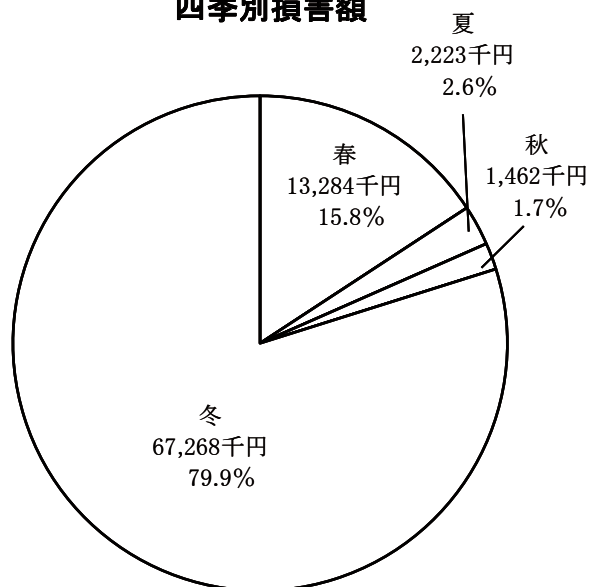


四季別火災件数



合計 22 件

四季別損害額



合計 84,237 千円

※ 春3月～5月 夏6月～8月 秋9月～11月 冬12月～2月
 ※ 各表 令和7年1月1日～12月31日

月別火災発生状況

区 分 市町月別		火 災 件 数								焼 損 棟 数					棟 爆 発 損 害 数
		建 物	林 野	車 両		船 舶	航 空 機	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	
				自 動 車	鉄 道										
岩 見 沢 市	1 月	1		1					2	1		2		3	
	2 月	1		1					2	1				1	
	3 月	2						1	3	1			1	2	
	4 月														
	5 月	2							2		1	1		2	
	6 月			1					1						
	7 月	1						1	2				1	1	
	8 月	2		1				1	4			2		2	
	9 月			1					1						
	10 月														
	11 月	3		1					4			1	2	3	
	12 月														
計		12		6				3	21	3	1	6	4	14	
月 形 町	1 月														
	2 月														
	3 月														
	4 月														
	5 月														
	6 月														
	7 月							1	1						
	8 月														
	9 月														
	10 月														
	11 月														
	12 月														
計								1	1						
合 計		12		6				4	22	3	1	6	4	14	

令和7年1月1日～12月31日

り災世帯数				焼 損 面 積			損害見積額（千円）					死傷者数	
全 損	半 損	小 損	計	床 面 積 (㎡)	表 面 積 (㎡)	林 野 (a)	建 物	収 容 物	車 両	そ の 他	計	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
				1566	62		58,986	4,733	332		64,051		
				107			2,677	540			3,217		
		1	1	105			1,325	3,660			4,985		
		1	1	48	1		7,482	817			8,299		
									311		311		
								240		43	283		
		2	2	55			1,432	43	35	119	1,629		2
									5		5		
					3								
1		2	3	55			1,395	2	60		1,457	1	2
1		6	7	1,936	66		73,297	10,035	743	162	84,237	1	4
1		6	7	1,936	66		73,297	10,035	743	162	84,237	1	4

過去5年間の火災の推移

区 分 市町別		火 災 件 数					焼 損 棟 数	爆 棟 発 損 害 数	り 災 世 帯 数			
		建 物	林 野	車 両	そ の 他	計			全 損	半 損	小 損	計
岩 見 沢 市	令 和 3 年	14		6	7	27	21		2	2	9	13
	令 和 4 年	24		5	4	33	24			1	13	14
	令 和 5 年	10		7	9	26	10			1	5	6
	令 和 6 年	17		1	5	23	31		3	1	13	17
	令 和 7 年	12		6	3	21	14		1		6	7
月 形 町	令 和 3 年	2		1	1	4	3				1	1
	令 和 4 年	1	1	1		3	1				1	1
	令 和 5 年			1		1						
	令 和 6 年											
	令 和 7 年				1	1						
合 計	令 和 3 年			7	8	31	24		2	2	10	14
	令 和 4 年	25	1	6	4	36	25			1	14	15
	令 和 5 年	10		8	9	27	10			1	5	6
	令 和 6 年	17		1	5	23	31		3	1	13	17
	令 和 7 年	12		6	4	22	14		1		6	7

各年1月1日～12月31日

焼 損 面 積			火災種別損害見積額（千円）					死傷者数	
床面積 (㎡)	表面積 (㎡)	林野 (a)	建物	林野	車両	その他	計	死者 (人)	負傷者 (人)
796	119		31,097		1,132	12,198	44,427	2	
393	7		16,870		919	5,970	23,759	1	9
140	2		6,541		2,876	3,133	12,550	1	2
863	172		50,367		510	15,816	66,693	2	4
1,936	66		73,297		743	10,197	84,237	1	4
81			1,055		650	568	2,273		
16		146	212	17	105		334		1
					6,900		6,900		
877	119		32,152		1,782	12,766	46,700	2	
409	7	146	17,082	17	1,024	5,970	24,093	1	10
140	2		6,541		9,776	3,133	19,450	1	2
863	172		50,367		510	15,816	66,693	2	4
1,936	66		73,297		743	10,197	84,237	1	4

過去5年間の出火原因の状況

各年1月1日～12月31日

(単位：件)

原因別 \ 年 別	令和 7 年	令和 6 年	令和 5 年	令和 4 年	令和 3 年
たばこ	2	1	5	1	2
こんろ	1	1		6	2
かまど					
風呂・かまど					1
炉					
焼却炉				1	
ストーブ	2	1		1	1
こたつ					
ボイラー			1		
煙突・煙道		1		1	
排気管	5		3	2	1
電気機器	1	4	1	1	2
電気装置		1			
電灯・電話等の配線	1		1	4	2
内燃機関					1
配線器具		1	1	1	
火あそび					1
マッチ・ライター	2			1	
たき火					
溶接機・切断機					1
灯 火		1	1		1
衝突の火花				1	
取 灰					
火 入 れ				2	5
放 火		1			
放火の疑い					
そ の 他	5	3	9	9	4
不 明	3	8	5	5	7
合 計	22	23	27	36	31

危険物製造所等設置状況

令和8年4月1日現在

(単位：施設)

施 設 別		市 町 別	岩見沢市	月形町	合計
		製 造 所			
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所		22	3	25
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		25	3	28
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所		11	1	12
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		159	22	181
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		1		1
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		85	3	88
	屋 外 貯 蔵 所				
取 扱 所	給 油 取 扱 所		42	2	44
	一 般 取 扱 所		59	2	61
	第 一 種 販 売 取 扱 所		3		3
合 計			407	36	443

危険物製造所等の許認可等状況

令和7年1月1日～12月31日

(単位：件)

施 設 別		許 認 可 別		設 置		変 更		仮使用	完成 検査前 検査	予 防 規 程	
		許 可	完 成	許 可	完 成	許 可	完 成			制 定	変 更
		製 造 所									
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所										
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所										
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所										
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所				1	1					
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所										
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	4	4	6	5						
	屋 外 貯 蔵 所										
取 扱 所	給 油 取 扱 所			12	10	4					1
	一 般 取 扱 所	1		5	5	2					1
	第 一 種 販 売 取 扱 所										
合 計		5	4	24	21	6					2

仮貯蔵・仮取扱い

1

完成検査済証再交付

危険物関係各種届出状況

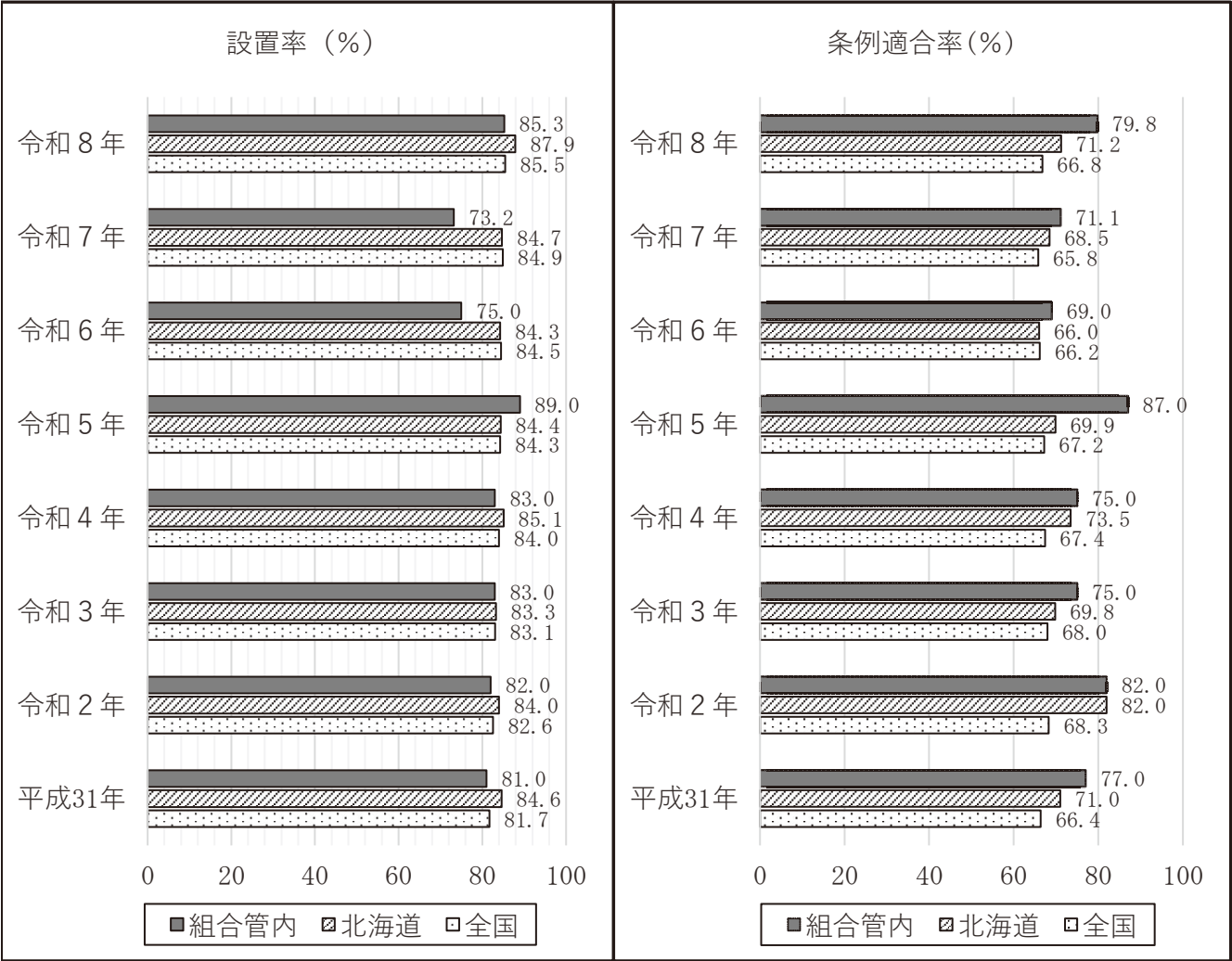
令和7年1月1日～12月31日

区 分	件 数	区 分	件 数
許 可 取 止 届 出 書		特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所 内 部 点 検 時 期 延 長 届 出 書	
譲 渡 引 渡 届 出 書		2 地 下 貯 蔵 タ ン ク 等 の 在 庫 の 管 理 及 び 危 険 物 の 漏 え い 時 の 措 置 に 関 す る 計 画 届 出 書	
品 名 、 数 量 又 は 指 定 数 量 の 倍 数 変 更 届 出 書		各 種 申 請 取 下 届 出 書	1
廃 止 届 出 書	7	変 更 工 事 (軽 微) 届 出 書	38
危 険 物 保 安 統 括 管 理 者 選 任 (解 任) 届 出 書		火 気 使 用 工 事 届 出 書	
危 険 物 保 安 監 督 者 選 任 (解 任) 届 出 書	15	使 用 休 止 (再 開) 届 出 書	3
危 険 物 取 扱 者 選 任 (解 任) 届 出 書	25	名 称 等 変 更 届 出 書	35
特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所 内 部 点 検 期 間 延 長 届 出 書		災 害 発 生 届 出 書	3

住宅用火災警報器の普及状況

令和 8 年 6 月 1 日現在
(単位：％)

区 分	設 置 率	条例適合率
組 合 管 内	85.3	79.8
北 海 道	87.9	71.2
全 国	85.5	66.8



住宅用火災警報器設置届出状況

各年 1 月 1 日～1 2 月 3 1 日
(単位：件)

市町別	令和 7 年			令和 6 年		
	既存住宅	新築住宅	合 計	既存住宅	新築住宅	合 計
岩 見 沢 市	4	4	8	8	10	18
月 形 町	17	1	18	7		7
合 計	21	5	26	15	10	25

事業所等での消防訓練等の実施状況

各年1月1日～12月31日

市町別	種 別	令和7年		令和6年		令和5年	
		実施数(回)	参加数(人)	実施数(回)	参加数(人)	実施数(回)	参加数(人)
岩見沢市	消防訓練	758	28,132	716	28,638	515	22,518
	うち消防立会	346	20,042	312	18,411	210	14,633
	その他の訓練	112	7,042	76	4,906	104	4,744
	消防署見学	23	272	26	913	21	650
	消防車写生会	2	92	3	126	5	202
月形町	消防訓練	77	2,877	74	3,054	92	3,685
	うち消防立会	40	1,499	29	1,247	31	1,106
	その他の訓練	10	613	37	1,200	30	1,214
	消防署見学	1	10				
	消防車写生会						
合 計		983	39,038	932	38,837	767	33,013

1. 消防訓練 消防法施行令第3条の2第2項で定める、消火、通報及び避難の訓練
2. その他の訓練 防火講話、DVD視聴、スモークマシンによる煙体験
3. 消防署見学 幼稚園・保育園園児、小中学校児童、生徒による消防署の施設見学
4. 消防車写生会 小学校に出向いての写生会

防火対象物定期点検及び防災管理点検の報告状況

令和7年1月1日～12月31日

(単位：件)

	対象物数	適 合		不 適 合	未 報 告
		毎年報告	特例認定		
防火対象物点検報告	132	38	36	21	37
うち特定1階段	14	3	1	2	8
防災管理点検報告	5	1	2		2

救急救助編

月別の救急出動状況

令和7年1月1日～12月31日

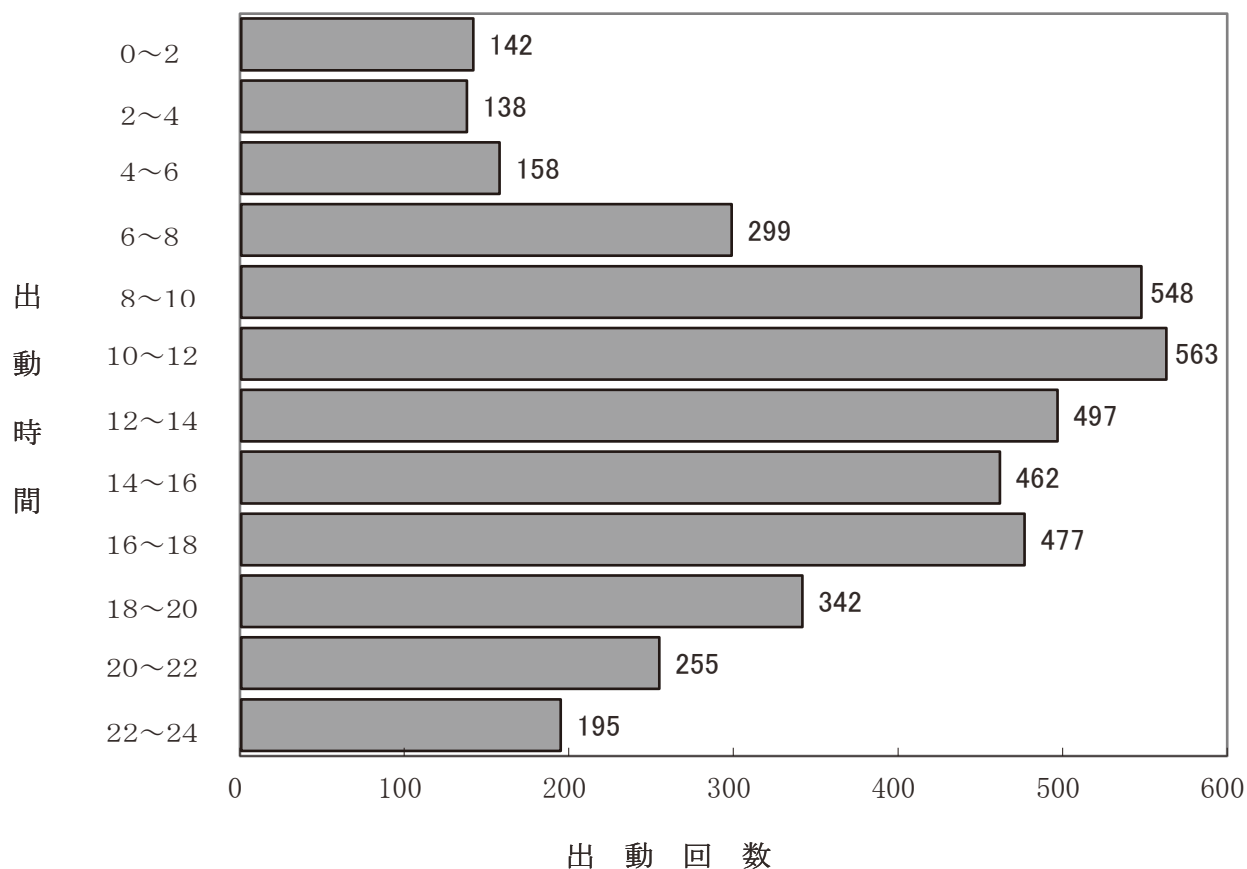
(単位：件、人)

事故種別 区 分		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				計	合 計	不 搬 送
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他			
1 月	出動件数	5			9	4	3	61	3	2	257	71			35	106	450	91
	搬送人員				7	4	3	55	1		218	71				71	359	-
2 月	出動件数	3			4	3	2	48	1	2	192	27			12	39	294	54
	搬送人員				5	3	2	41	1	1	161	27				27	241	-
3 月	出動件数	5			5	2		41		4	198	53			15	68	323	45
	搬送人員	1			3	2		36		4	179	53				53	278	-
4 月	出動件数	2			7	3		43		3	190	39			1	40	288	37
	搬送人員				3	3		37		2	167	39				39	251	-
5 月	出動件数	3			4	4	1	55		1	180	32			5	37	285	42
	搬送人員				2	4	1	46			158	32				32	243	-
6 月	出動件数	3			10		3	49	1	3	192	60			1	61	322	38
	搬送人員				8		3	41	1	3	169	59				59	284	-
7 月	出動件数	11			11	8	4	57			218	60			2	62	371	42
	搬送人員	3			8	7	4	53			197	60				60	332	-
8 月	出動件数	9			20	2	1	55		5	245	34			2	36	373	53
	搬送人員	1			20	2	1	47		3	215	34				34	323	-
9 月	出動件数	5			20		2	46		2	193	50			1	51	319	35
	搬送人員				15		2	39		1	176	50			1	51	284	-
10 月	出動件数	5		1	24	1	1	37	3	2	187	58			1	59	320	43
	搬送人員	1			20	1	1	34	2	2	160	58				58	279	-
11 月	出動件数	6			20			45		3	229	66			1	67	370	56
	搬送人員	2			15			37		3	191	66				66	314	-
12 月	出動件数	2			14	1	1	50		2	222	67			2	69	361	47
	搬送人員				9	1	1	40		2	195	66				66	314	-
合 計	出動件数	59		1	148	28	18	587	8	29	2,503	617			78	695	4,076	583
	搬送人員	8			115	27	18	506	5	21	2,186	615			1	616	3,502	-

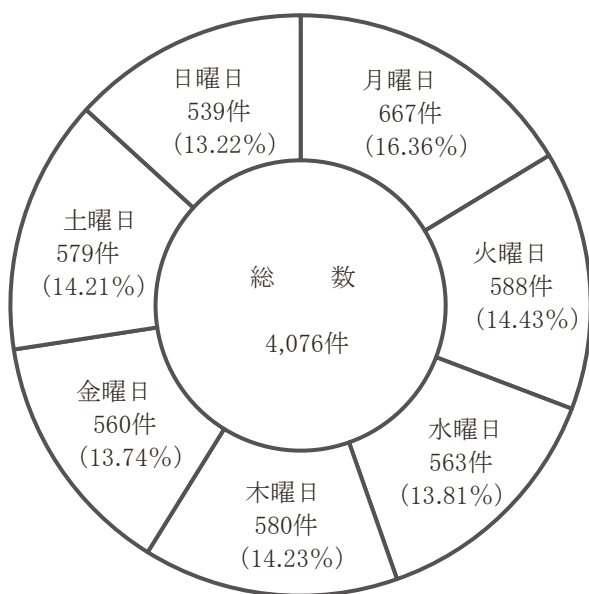
出動 1日平均 11.17 件 (2時間9分に1件)
搬送 1日平均 9.59 人

時間別救急出動件数

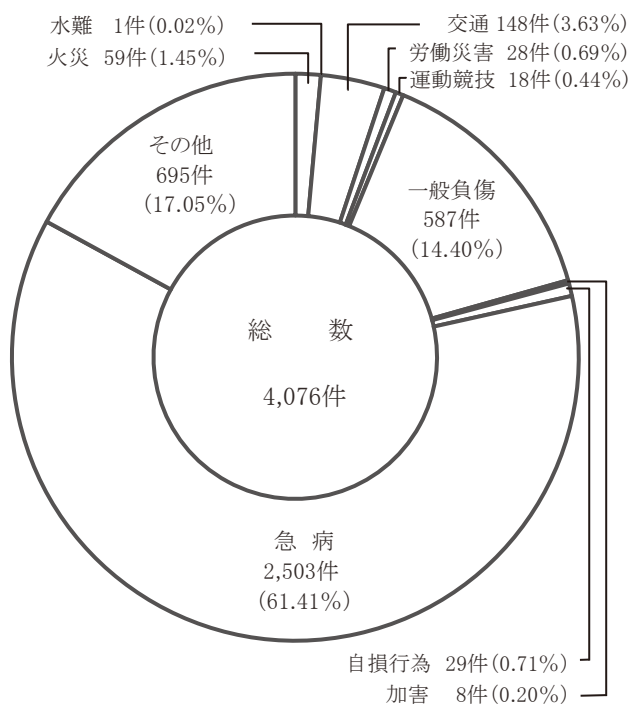
(単位：件)



曜日別救急出動件数



事故種別救急出動割合



※各表 令和7年1月1日～12月31日

出動場所別救急出動状況

令和7年1月1日～12月31日

(単位：件、人)

事故種別 出動場所別		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				計	合 計	不 搬 送
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他			
岩 見 沢	出動件数	57		1	131	24	18	559	8	29	2,383	593			75	668	3,878	561
	搬送人員	5			106	23	18	481	5	21	2,072	591			1	592	3,323	-
月 形	出動件数				15	4		28			117	23			2	25	189	18
	搬送人員				9	4		25			111	23				23	172	-
そ の 他	出動件数	2			2						3	1			1	2	9	4
	搬送人員	3									3	1				1	7	-
合 計	出動件数	59		1	148	28	18	587	8	29	2,503	617			78	695	4,076	583
	搬送人員	8			115	27	18	506	5	21	2,186	615			1	616	3,502	-

過去5年間の救急出動推移

各年1月1日～12月31日

(単位：件、人)

事故種別 年 別		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				計	合 計	不 搬 送
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他			
令和3年	出動件数	72		1	176	26	8	501	7	42	2,386	562			103	665	3,884	496
	搬送人員	6			164	26	8	464	4	30	2,146	561				561	3,409	-
令和4年	出動件数	64		2	185	38	10	621	6	31	2,375	513			74	587	3,919	548
	搬送人員	9			151	37	10	567	5	21	2,076	510				510	3,386	-
令和5年	出動件数	61		2	191	46	14	612	8	39	2,711	556			86	642	4,326	646
	搬送人員	4			177	45	14	555	5	25	2,332	554				554	3,711	-
令和6年	出動件数	49		2	201	29	27	653	6	25	2,528	581			46	627	4,147	528
	搬送人員	2			172	29	26	594	3	16	2,219	580				580	3,641	-
令和7年	出動件数	59		1	148	28	18	587	8	29	2,503	617			78	695	4,076	583
	搬送人員	8			115	27	18	506	5	21	2,186	615			1	616	3,502	-

傷病程度別の搬送人員状況

令和7年1月1日～12月31日

(単位：人)

事故種別 傷病程度	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡				2			10		5	110	8	135
重 症	1			10	2	1	134		3	448	210	809
中 等 症	3			23	7	1	96		8	665	323	1,126
軽 症	4			80	18	16	266	5	5	963	75	1,432
そ の 他												
合 計	8			115	27	18	506	5	21	2,186	616	3,502

傷病程度

初診時における医師の診断(救急業務実施基準第20条第2項の医師の所見)に基づき次により分類する。

1. 死 亡 初診時において死亡が確認されたもの
2. 重 症 傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
3. 中等症 傷病程度が入院を要するもので重症に至らないもの
4. 軽 症 傷病程度が入院加療を必要としないもの
5. その他 医師の診断がないもの、及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの

年齢区分別の搬送人員状況

令和7年1月1日～12月31日

(単位：人)

事故種別 年齢区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児											5	5
乳 幼 児	1			2			15			32	4	54
少 年				7		8	15		1	40	7	78
成 人	2			59	21	10	76	4	16	479	122	789
高 齢 者	5			47	6		400	1	4	1,635	478	2,576
合 計	8			115	27	18	506	5	21	2,186	616	3,502

年齢区分

1. 新生児 生後28日未満の者
2. 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
3. 少 年 満7歳以上満18歳未満の者
4. 成 人 満18歳以上満65歳未満の者
5. 高齢者 満65歳以上の者

救急隊員が行った応急処置件数

令和7年1月1日～12月31日

(単位：件、人)

事故種別	応急処置	止 血	固 定	人工呼吸	胸 骨 圧 迫		心 肺 蘇 生		酸素吸入	保 温	被 覆
	応急処置対象人員					うち自動		うち自動			
急 病	2,186	25	35	5			77	6	519	20	14
交 通	115	12	36				1		11	1	15
一般負傷	506	91	131	2			10	1	21	1	91
そ の 他	695	10	34	3	1		7		199	5	12
合 計	3,502	138	236	10	1		95	7	750	27	132

事故種別	応急処置	気 道 確 保				在 宅 療 法 継 続			ショックパ ンツによる 血圧保持	除細動
		※1	※2	※3	※4気管挿管	※A	※B	※C		
急 病	53	1		49	1	2		1		10
交 通	2									
一般負傷	6		4		1					
そ の 他	6			2						
合 計	67	1	4	51	2	2		1		10

事故種別	応急処置	その他の 応急処置	静 脈 路 確 保		薬 剤 投 与		血圧 測定	聴診器に よる聴取	血中酸素飽 和度の測定	心電図	血糖測定	合 計
			CPA前	CPA後	アドレナリン	ブドウ糖投与						
急 病	5		30	27	24	14	2,085	421	2,116	760	135	6,377
交 通			1				113	24	113	18	2	349
一般負傷				5	5		485	32	495	39	3	1,417
そ の 他			2	4	5		678	39	684	172		1,861
合 計	5		33	36	34	14	3,361	516	3,408	989	140	10,004

1. 止 血 直接圧迫、止血帯、包帯等による止血処置
2. 固 定 副子等による固定又は安静保持
3. 人工呼吸 口対口又は器具等による人工呼吸
4. 胸骨圧迫 胸骨圧迫心マッサージ
5. 心肺蘇生 心肺蘇生法
6. 酸素吸入 酸素吸入器による酸素吸入
7. 保 温 傷病者の状況から保温を保持する必要がある場合に行う保温処置
8. 気道確保 気道の確保のための処置並びに口腔内清拭及び吸引の処置
 - ※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保
 - ※2 喉頭鏡・マギール鉗子等による異物除去
 - ※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリングアルマスク等を使用しての気道確保
 - ※4 救急救命士法に基づき気道確保のための処置で救急救命士が行った気管挿管処置
9. 被 覆 創傷をガーゼ等で被覆する創面保護
10. 在宅療法継続 在宅療法継続中の傷病者に対しその療法維持のために行った必要な処置及び在宅療法に異常があった場合に
行った応急処置
 - ※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの
 - ※B 気管切開孔又は気管瘻、人工肛門等の外瘻処置が施されているもの
 - ※C ※A、※B以外の処置が施されているもの
11. ショックパンツによる血圧保持 ショックパンツを使用した血圧保持の処置
12. 除 細 動 重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、自動体外式除細動器(AED含む)による除細動
13. 静脈路確保 CPA前～救急救命士法に基づき心肺機能停止前に行う静脈路確保のための輸液
CPA後～救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、薬剤を用いた静脈路確保のための輸液
14. その他の応急処置 1から13以外の応急処置
15. 血圧測定 血圧計を使用しての血圧測定
16. 聴診器による心音・呼吸音等の聴取 聴診器を使用しての心音・呼吸音等の聴取
17. 血中酸素飽和度の測定 血中酸素飽和度測定器を使用しての血中酸素飽和度の測定
18. 心 電 図 心電計を使用しての心電図の測定
19. 薬剤投与 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、アドレナリンの投与
20. ブドウ糖投与 低血糖傷病者へのブドウ糖溶液の投与
21. 血糖測定 救急救命士法に基づき救急救命士が行なった血糖測定

急病にかかる疾病分類別搬送人員の状況

令和7年1月1日～12月31日

分類項目別	循環系		消化器系	呼吸器系	精神系	感覚器系	泌尿器系	新生物	その他	症微診不	合 計
	脳疾患	心疾患等									
搬 送 人 員 (人)	182	280	209	236	66	112	134	107	470	390	2,186
構 成 比 (%)	8.33	12.81	9.56	10.80	3.02	5.12	6.13	4.89	21.49	17.84	100.0

1. 急病に係る疾病分類とは、事故種別の急病については初診時における医師の診断に基づく傷病名をWHO(世界保健機関)で定める国際疾病分類(ICD)により分類したものである。
2. 「脳疾患」とは、脳血管疾患をいう。
3. 「新生物」とは、胃の悪性新生物、白血病等その他の悪性新生物及びその他の新生物をいう。
4. 「症微診不」(症状・微候・診断名不明確の状態)とは、腹痛、頭痛、失神、めまい等の疾病をいう。
5. 「その他」とは、上記の循環系から新生物までに分類された以外の疾病分類の全てである。

救助事故種別出動件数

令和7年1月1日～12月31日

(単位：件)

事故種別 件数区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機 械 に よる 事故	建物等に よる 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事 故	合 計
	建物	建物以外									
岩 見 沢 市	4		21	1			46			58	130
月 形 町			4			1	1			2	8
そ の 他 の 市 町 村			1								1
合 計	4		26	1		1	47			60	139

救助活動件数・救出人員数調

令和7年1月1日～12月31日

(単位：件、人)

事故種別 件数区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機 械 に よる 事故	建物等に よる 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事 故	合 計
	建物	建物以外									
活 動 件 数	4		17			1	32			7	61
救 出 人 員	4		18			1	32			7	62

1. 火災とは、火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
2. 交通事故とは、すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
3. 水難事故とは、水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
4. 風水害等自然災害事故とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
5. 機械による事故とは、エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
6. 建物等による事故とは、建物、門、柵、へい等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
7. ガス及び酸欠事故とは、一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。
8. 破裂事故とは、火災現場において直接火災に起因して生じた事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。
9. その他の事故とは、上記に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。

救急講習会の実施状況

各年1月1日～12月31日

年 別 区 分		令和7年	令和6年	令和5年
一 般 講 習	回 数	65 回	51 回	50 回
	受講者数	1,531 人	1,022 人	797 人
普通救命講習	回 数	33 回	35 回	45 回
	受講者数	603 人	420 人	572 人
上級救命講習	回 数	0 回	1 回	回
	受講者数	0 人	1 人	人
救命入門コース	回 数	1 回	3 回	回
	受講者数	8 人	50 人	人
普 及 員 講 習	回 数	2 回	回	回
	受講者数	12 人	人	人
合 計	回 数	101 回	90 回	95 回
	受講者数	2,154 人	1,493 人	1,369 人

1. 一 般 講 習 応急手当等の基礎的な知識を習得させる講習。
2. 普通救命講習 AEDを含め、ある程度専門的な技術を習得させる講習で、受講者には修了証を交付。
3. 上級救命講習 普通救命講習の他に、傷病者管理法、手当の要領、搬送法を習得する講習。
4. 救命入門コース 胸骨圧迫及びAEDの取扱いを習得させる応急手当の導入講習。
※「応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱」の一部改正に伴い、令和7年10月1日より「救命入門コース」は廃止。
5. 普 及 員 講 習 事業所、団体、地域等で応急手当の指導・普及に当たるものを養成する講習。

□救急業務の高度化の流れ

- ▽平成15年4月 … 「救急救命士法」の改正→「指示なし除細動」の実施が可能となる。
- 平成16年5月 … 救急救命士による”包括的指示下”での「除細動実施」の運用開始。
- 平成16年7月 … 医師の指示を受けて救急救命士による「気管挿管」の実施が可能となる。
市民の「AED(自動体外式除細動器)」の使用が可能となる。
- 平成17年5月 … 市民に対して「AED講習」の開始。
- 平成18年4月 … 医師の指示を受けて救急救命士による「薬剤投与」の実施が可能となる。
- 平成21年3月 … 「エピペン(自己注射が可能なエピネフリン製剤 別名アドレナリン)」
の投与が可能となる。
- 平成23年8月 … 「ビデオ硬性挿管用喉頭鏡による気管挿管」の実施が可能となる。
- 平成26年4月 … 「心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液」の実施が可能
となる。
「血糖測定」並びに「低血糖発作症例に対するブドウ糖溶液の投与」が可能
となる。

通信編

消防通信指令施設の整備経緯と現況

平成15年10月	総務省令「電波法関係審査基準」の一部改正 消防救急無線は「平成28年5月31日までに」デジタル化しなければならない。 (※→平成23年6月1日以降の免許更新は許可されない。)
平成17年 7月	消防庁次長通知「消防救急無線の広域化・共同化及び共同運用の推進について」 ・基本的には都道府県を一つのブロックとして整備。 ・指令センターは都道府県単位が望ましい。 ・前記に基づき、都道府県は市町村や消防本部との協議のうえ平成18年度までに「整備計画」を策定すること。
平成18年 5月	「北海道消防救急無線広域化等策定委員会・協議会」を設置 北海道における「整備計画」を平成19年度末までに策定予定で設置。
平成19年 1月	北海道の「整備計画」(案)における道内の区域割りの提案 ※道内を7ブロック化(岩見沢は札幌を含む石狩・空知・後志支庁管内で構成。)
平成20年 5月	総務省告示第291号 アナログの使用期限については電波法関係審査基準により平成28年5月31日までと規定されていたが、共通仕様書が策定されるなどデジタル化の整備環境が整ってきたこと等から、法律(電波法第26条)に基づき、周波数割当計画(告示)を改正し、アナログの使用期限を正式に平成28年5月31日までと規定。
平成20年 7月	「北海道消防救急無線広域化・共用化及び消防指令業務の共同運用に係る整備計画」の策定
平成21年 8月	「北海道消防救急無線広域化・共用化及び消防指令業務の共同運用に係る整備計画」の見直し
平成22年 3月	通信指令室指令装置の更新 運用開始(指令装置費用26,000千円) ※機能…デジタル化対応、消防広域対応、地図検索装置整備 地図検索装置概略 ※119番入電時通報者の位置が、モニター地図画面に表示される装置 (ゼンリン地図上にN T Tデータを利用し表示) ※表示的中率は、おおむね・・・ ・一般加入電話～9割以上 ・携帯電話～G P S機能付～数メートル以内 ・携帯電話～G P S機能無～数十キロ以内
平成22年 4月	通信規程の運用について 警防規程運用開始 ※平成18年3月15日施行の通信規程を、警防規程運用に伴い、市町村合併後の問題点、消防広域化、当組合月形町通信一元化を総合的に検討した結果、通信規程の全部を改正し、平成22年11月1日より運用している。
平成22年 5月	「道央地区消防救急無線共同整備等実施計画」の策定
平成22年 8月	空知ブロック消防救急デジタル無線整備費用低減化検討会議設置
平成22年 9月	南空知第1回ワーキンググループ会議
平成22年11月	南空知第1回ワーキンググループ会議 (道危機対策課、空知総合振興局、消防)
平成23年 7月	南空知第1回ワーキンググループ担当学会議 (道危機対策課、空知総合振興局、市町村財務担当者、消防)
平成24年 3月	空知ブロック消防救急デジタル無線整備費用低減化検討会議

平成24年10月	通信業務の一元化業務開始 当組合月形町との通信一元化により既に実施している緊急通報システムの受報業務の他に119番受報業務、災害出動等指令業務を、平成24年10月1日より実施している。
平成25年 4月	消防救急デジタル無線整備に係る実施計画委託業務着手
平成26年 1月	実施計画委託業務成果品受領
平成28年 4月	消防救急デジタル無線整備運用開始
平成29年 9月	高機能消防指令センター運用開始（整備費用291,600千円） ※通信指令システム概要 消防救急デジタル無線設備と接続連携し、出動車両運用管理装置と連動することにより、的確な出動指令と効率的な事案活動を行うための各種支援情報を提供し消防力の最大発揮を図ることができる高機能化したシステム。 ※装置概要 指令台…下記装置と連動・連携し、通報受付、出動指令、無線交信等総合的に消防通信を行う装置。 ・自動出動指定装置～出動指令、出動隊編成等システムの自動化機能を制御する装置。 ・地図等検索装置～災害発生場所の地図等の検索が容易にかつ迅速にできるようにする装置。 ・支援情報表示装置～指令管制業務に必要な各種情報を上記二つの装置と連携し有効に表示することができる装置。 ・出動車両運用管理装置～管理装置（親局装置）及び車両設置の車両運用端末装置（AVM）から構成され、車両動態・車両位置情報等を伝送し自動出動指定装置等に反映させるもの。
令和 7年 3月	高機能消防指令センター整備（サーバー系更新・整備費用72,930千円）
令和 8年 1月	南空知管内5消防本部における消防通信指令事務の共同運用に関する合意書締結
令和 8年 3月	「南空知管内5消防本部消防通信指令事務協議会規約」の議決 「南空知管内5消防本部消防通信指令事務協議会」を設置 消防救急デジタル無線主要基幹装置更新（整備費用82,500千円）

119番受報数の現況

令和7年1月1日～12月31日

(単位：件)

種 別 \ 市町別	岩見沢市	月形町	合 計
火 災	53	1	54
うち携帯	44	1	45
救 急	2,922	116	3,038
うち携帯	1,572	48	1,620
救 助	72	3	75
うち携帯	62	3	65
警 戒	36	3	39
うち携帯	27	2	29
その他	32		32
うち携帯	15		15
合 計	3,115	123	3,238
うち携帯	1,720	54	1,774
前 年 合 計	3,239	109	3,348
うち携帯	1,645	50	1,695
出動に該当しない受信	1,362		
試験、通報	705		
問合せ	251		
間違い、悪戯、無言	406		

※加入電話・駆け付け・消防救急無線・Net119等の通報は除く。

Net119の登録状況

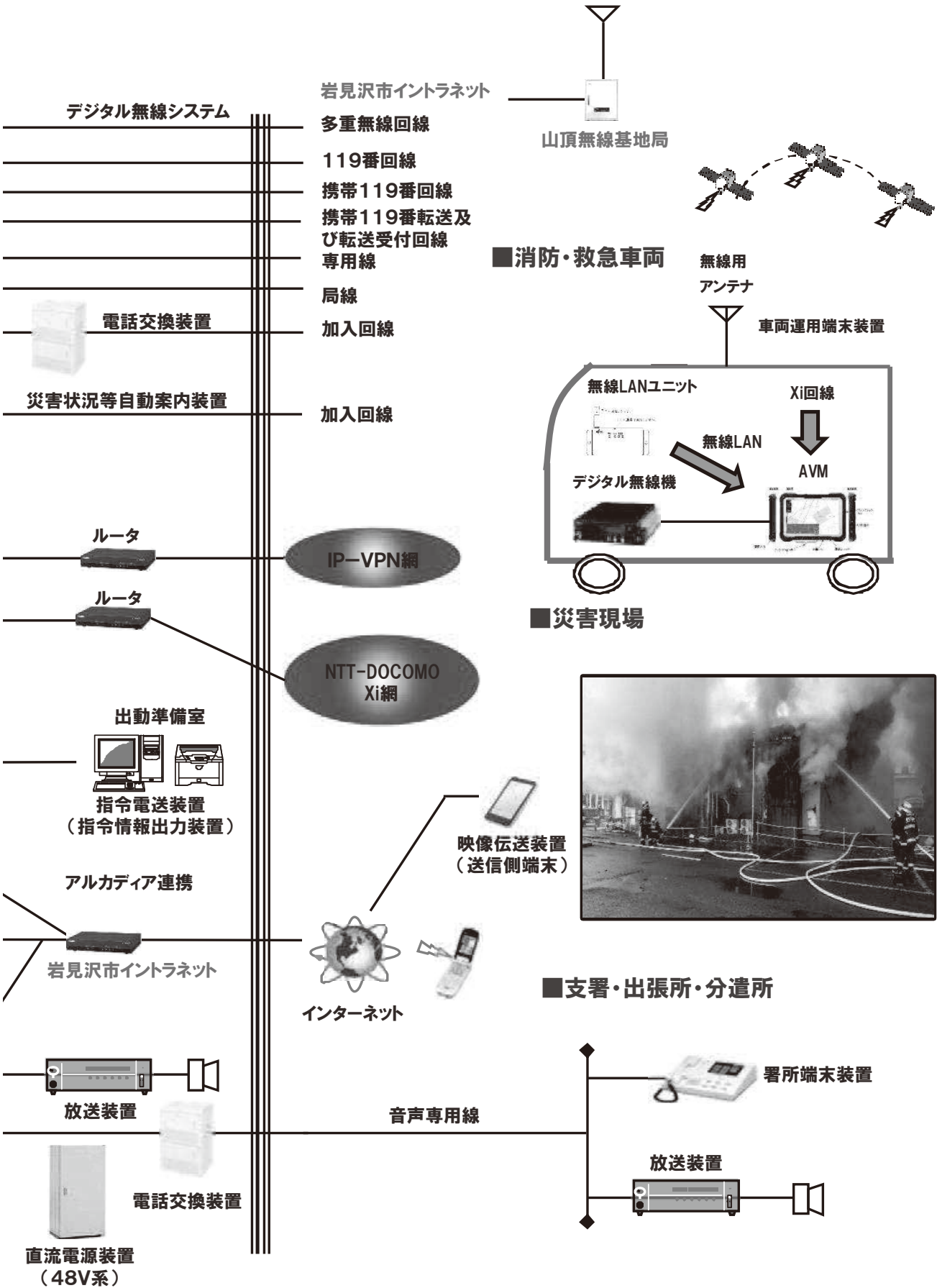
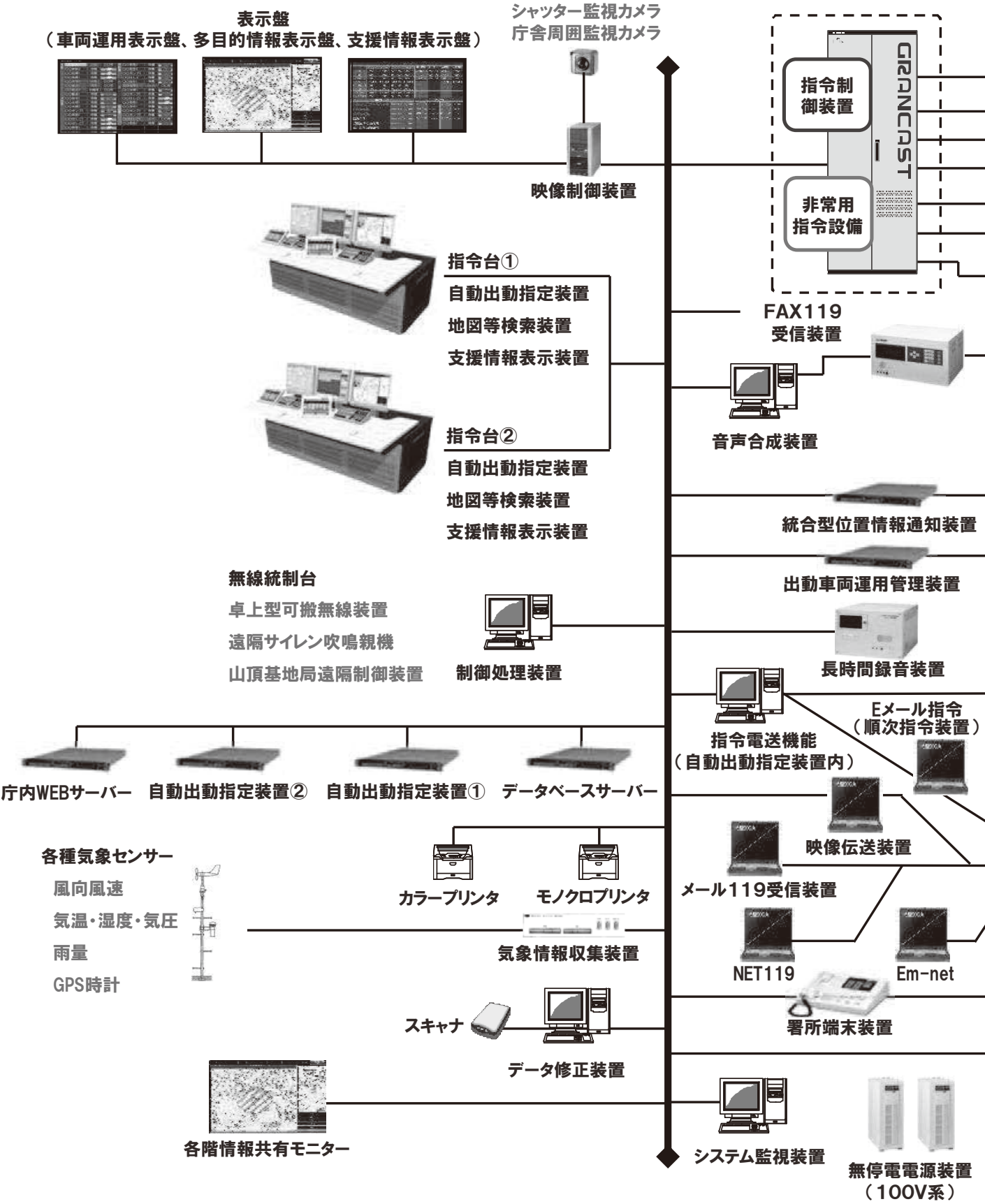
令和8年4月1日現在

(単位：人)

種別 \ 市町別	岩見沢市	月形町	合 計	備 考
Net119	17	1	18	

※メール119については、Net119への登録に移行したため、令和7年度末で廃止とする。

岩見沢地区消防事務組合 消防通信指令システム系統図





消防年報 2026

令和 8 年 月

編集・発刊

岩見沢地区消防事務組合

消防本部・岩見沢消防署

〒068-0008 北海道岩見沢市 8 条東 10 丁目 2 番地 47

消防本部 総務課 TEL 0126-22-4300

〃 〃 FAX 0126-25-1048

〃 警防課 TEL 0126-22-4302

〃 予防課 TEL 0126-22-4301

岩見沢署 消防課 TEL 0126-22-4380

FAX 0126-22-7446

栗沢支署

〒068-0123 北海道岩見沢市栗沢町東本町 19 番地

TEL 0126-45-2009

FAX 0126-45-2839

北支署

〒068-1213 北海道岩見沢市北村赤川 586 番地 2

TEL 0126-56-2007

FAX 0126-56-2107

月形支署

〒061-0500 北海道樺戸郡月形町 1047 番地 13

TEL 0126-53-2154

FAX 0126-53-2396